

令和2年度 第2回 埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会 議事録

期 日 令和2年8月6日(木)
場 所 蕨市役所第1委員会室
開 会 午前9時00分
閉 会 午後3時00分

出席委員 蕨市教育委員会 松本 隆男 教育長
蕨市教育委員会 加藤 正明 委員
戸田市教育委員会 戸ヶ崎 勤 教育長
戸田市教育委員会 仙波 憲一 委員

事務局 蕨市教育委員会 原田 卓治 教育部次長学校教育課長
蕨市教育委員会 長岡 潤 学校教育課学務係長
蕨市教育委員会 松永由美子 学校教育課指導係長
蕨市教育委員会 保坂 淳 学校教育課指導主事
蕨市教育委員会 齋藤 大輔 学校教育課指導主事
蕨市教育委員会 佐々木 秀 学校教育課指導主事
戸田市教育委員会 佐藤 尚子 次長兼教育政策室長
戸田市教育委員会 田野 正毅 教育政策室指導担当課長
戸田市教育委員会 大森 雅彦 教育センター所長
戸田市教育委員会 布瀬川裕貴 教育政策室主幹兼指導主事
戸田市教育委員会 中村 篤 教育政策室主事

傍 聴 人 4名

| | | | |
|---|-----------------------|-----|---|
| 1 | 開 会 | 司 会 | ・ 開会の言葉 |
| 2 | 事務局からの連絡 | 司 会 | ・ 傍聴人について確認する。本日の傍聴人は4名である。傍聴人の方に申し上げる。事務局職員からも説明しているが、静粛に傍聴されるようお願いする。 それでは、採択協議会長、松本 隆男 教育長から挨拶をいただく。 |
| 3 | 挨拶 | 会 長 | ・ 挨拶 |
| | | 司 会 | ・ 採択協議会規約第9条第2項により、ここからは松本会長に議長をお願いする。 |
| | | 議 長 | ・ はじめに2点確認する。 1点目に、本日の議事録の署名委員については、臨時採択協議会で承認のとおり、戸ヶ崎委員と仙波委員をお願いするとともに、議事録の記録について、発言者名は、議長または委員という形でよろしいか。 |
| | | 委 員 | ・ 異議なし。 |
| 4 | 議 事 | 議 長 | ・ はじめに「(1) 報告 教科書展示会場の閲覧状況について」事務局からお願いする。 |
| | (1) 報告（展示会場の閲覧状況について） | 事務局 | ・ 令和2年度教科用図書展示会場の閲覧状況について報告する。教科書展示会については、戸田市立教育センターで、6月12日から6月25日までの14日間開催し、保護者・一般37名、学校関係者81名、教育委員会等関係者5名、計123名が閲覧した。 また、閲覧の際にアンケートに協力をいただき、「それぞれの教科書に良さがあり、次の教科書が楽しみになった。」「静かで涼しく、環境が整っており、ゆっくり見ることができた。」等の声をいただいた。アンケートをまとめたものを回覧するのでご覧いただきたい。 |
| | | 議 長 | ・ 何か質問はあるか。 (質問なし) |

(2) 中学校教科書の研究結果の報告及び協議

議長

- ・ 続いて、「(2) 中学校教科書の研究結果の報告及び協議」に入る。はじめに、保護者代表による研究結果を聴取し、その後、16の種目についてそれぞれ専門員代表より研究結果を聴取する。
それでは採択協議会規約第15条により、保護者代表の研究結果の報告を事務局から願います。

事務局

- ・ 保護者代表については、蕨市、戸田市の各PTA連合会に依頼し、代表の方を推薦いただいた。教科用図書全般にわたって研究いただいたので、その結果について報告する。
各種目について、蕨市、戸田市の順で報告する。

はじめに国語では、
蕨市においては、発行者によっては色分けが効果的にされていて、学習内容を把握しやすくなっている。また、單元ごとに学習の流れや目標が明記されていたり、教科書の後ろに資料がまとめてあったりしてわかりやすい。

戸田市においては、作品を読む前に導入としてマンガでの説明があり、何を学ぶのか明確で学習しやすいと感じた。また、漢字の意味が同じページの下に書いてあり、学習しやすいと感じた。

次に書写では、
蕨市においては、筆の持ち方や書き方の手順などが、わかりやすく示されていてよいと思った。
戸田市においては、硯、筆、半紙などについても学ぶことは、よいと思った。また、姿勢などについても、細かく写真や絵を使って表示されていて分かりやすいと思った。

次に社会の地理的分野では、
蕨市においては、カラーの見出しが工夫してあって、ページを引きやすい上にわかりやすいと感じた。
また、対話的な学びが進められるよう、周囲と意見を交流したものをまとめられるような工夫がされていてよいと思った。
戸田市においては、写真が多いと想像がしやすいと

思った。また、吹き出しの質問や、節の前の導入や終わりの振り返りなど、とても学習しやすい内容だと思った。

次に社会の歴史的分野では、

蕨市においては、ページ下に年表などが併記され、今どの時代のことを学習しているのか分かりやすく工夫されていると感じた。また、各学習内容のはじめにある子供のキャラクターのつぶやきが、子供たちの気付きや疑問につながるよう工夫されていてよいと思った。

戸田市においては、絵より写真のほうが理解しやすいと思った。また、登場人物による吹き出しの質問や投げかけがあり、学習の視点がわかりやすく、学習しやすいと感じた。

次に社会の公民的分野では、

蕨市においては、SDGsにも触れられていてよいと思った。また、色や授業の流れを効果的に示すことで、子どもたちの理解度を高める工夫があつてよいと思った。

戸田市においては、マンガでの説明が分かりやすく学習内容に入りやすいと思った。また、絵や写真が多いのも良いと思った。

次に地図では、

蕨市においては、各地の特産物などが地図に記載されていてよいと思った。地図は大判の方がわかりやすいと感じた。

戸田市においては、見やすい地図だと思った。地図が全部同じ向きだとよいと思った。

次に数学では、

蕨市においては、教科書に直接、図やグラフなどを書き込めるようなスペースがあつてよいと思った。また、付録が充実しており、ゲーム感覚で楽しみながら学習ができてよいと感じた。

戸田市においては、資料として、図形の展開図があり、学習しやすいと感じた。また、立体の建物の写

真もあり、関心がわくと思った。

次に理科では、

蕨市においては、小学校からのつながりがわかりやすく、振り返りが充実していてよいと感じた。また、問題形式のまとめ、キーワード形式のまとめがあるが、問題形式でのまとめの方が分かりやすいと感じた。

戸田市においては、写真が多く、楽しく学べると感じた。また、章のまとめのページもカラフルな感じが少し残っているほうが見やすいと感じた。

次に音楽の一般では、

蕨市においては、有名な英語の曲や最近の曲が入るなど、生徒が親しみを感じる教科書になっていると感じた。また、著作権法についても触れられているのが、現代の問題にあっていると感じた。

戸田市においては、いろいろな分野の音楽の世界が学べる内容になっていると感じた。また、写真もあり理解しやすいと思った。

次に音楽の器楽合奏では、

蕨市においては、写真が多く、普段見られない楽器等を視覚的に学べるようになっていると感じた。

戸田市においては、写真や絵で細かく指導の仕方が載っているので、分かりやすいと感じた。

次に美術では、

蕨市においては、他教科とのつながりを意識した構成になっていると感じた。また、技法の手順を詳しく載せているのがよいと感じた。

戸田市においては、項目ごとに見やすく分かりやすく説明していると感じた。また、とても良い作品が載っていると思った。

次に保健体育では、

蕨市においては、成人病やたばこの害などの従来からの問題点や、ストレスや感染症への対処などについてよく触れられており、現代の課題に対してよく

向き合った内容になっていると感じた。

戸田市においては、どの教科書もとても分かりやすくまとめてあると思った。また、絵や写真を使っ
ての導入やチェック項目があると段階的に学べると感
じた。

次に技術・家庭の技術分野では、

蕨市においては、QRコードを使って家庭でもPC
端末を使って何度も学習を振り返られるようになって
いてよいと感じた。また、工具の使い方が教科書
の後半についていて便利だと感じた。

戸田市においては、とても見やすくポイントの文字
の色を変えてあるのが分かりやすいと感じた。また
、工程の段階ごとに写真があるのは、分かりやすい
と思った。

次に技術・家庭の家庭分野では、

蕨市においては、料理のレシピ集や郷土料理一覧な
どが掲載され、食に興味関心を引くための工夫がさ
れていると感じた。また、クレジットカードの使用
など消費者教育も取り入れているのがよいと思った。
戸田市においては、調理では工程が写真になってい
て分かりやすいと感じた。また、学習部分もマンガ
のような感じで学びやすくなっていると感じた。

次に英語では、

蕨市においては、アルファベットの書き方で子供が
混乱しないように、フォントが工夫されていてよい
と感じた。また、文法などのまとめのページがあっ
たり、暗記用の赤色シートで単語や文法を確認でき
るようになっていたりして、テストや自主学習にも
対応していてよいと感じた。

戸田市においては、写真や絵があることによって、
理解が深められると感じた。暗記用シートがついて
いて、単語の覚え方の学習ができると思った。また
英語の歌がついているのもよいと思った。

最後に道徳では、

蕨市においては、ここ数年の社会問題も題材になっ

ており、生徒が身近に感じ、考えをもち意見を述べやすいつくりになっているのがよいと感じた。また、別冊のノートで自身の変容がわかるようになっていのがよいと感じた。

戸田市においては、作品ごとに挿絵の作風がかわり、内容に入りやすいと感じた。また、グループでの話し合いと個人活動がバランスよく入っていてよいと思った。学年ごとの問題提示もよいと思った。

議 長

- ・何か質問はあるか。
(質問なし)

議 長

- ・次に採択協議会規約第14条により設置した専門員からの調査研究結果の報告を行う。
種目の順に国語から報告をいただく。

専 門 員
代 表

- ・国語の調査研究結果を報告する。
(報告書に基づいて4者について報告する。)

議 長

- ・ただいまの報告について質問はあるか。

委 員

- ・新学習指導要領では語彙力を高めることが課題とされているが、「語彙に関する指導の改善・充実」についてどのような工夫があるか。

専 門 員
代 表

- ・東京書籍では、「読むこと」の教材末尾に「広がる言葉」を設け、文の表現と関連させるなどして、語感を磨き語彙を豊かにするよう工夫されている。各学年の巻末の資料編「言葉を広げよう」には3学年合計1555の言葉が示されており、「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の学習にも生かせるようになっている。
三省堂では、各教材に「語彙を豊かに」を設け、さまざまなテーマで教材に関連した語彙を取り上げ、語感を磨くことができるよう工夫されている。学年の巻末の資料編「語彙の広がり」では理解できる語句や使える語句を増やせるようになっている。辞書を活用する学習を設け、辞書を引く習慣を付けるように工夫している。
教育出版では、各教材で教材文を読むうえで重要な語

句や文型を脚注に取り上げ、意識付けを図っていて、教材末の「みちしるべ」にそれを「この教材で学ぶ言葉」として一覧にまとめ、語彙の広がりをもたしている。各学年の巻末の折込に「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」を設け、語彙の拡充を図れるよう工夫されている。

光村図書では、各学年に語彙力向上のための教材が設定されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では「表現に役立つ語彙」が示され、「読むこと」の教材では「言葉に着目する課題」が設けられるなど、各教材で語彙に着目させる工夫がある。各学年の巻末に「語彙を豊かに」を設け、語彙を広げたり、話型・文型を示したりしている。

委員 ・ 新学習指導要領では情報の扱い方が課題とされているが、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」についてはどのような工夫があるか。

専門員
代表 ・ 東京書籍では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の教材をとおして、メディアリテラシーや情報活用について学べるようになっている。基礎編の「学びを支える言葉の力」で情報の整理の仕方や、情報と情報の捉え方などを、生徒にとって身近な例を題材にして学ぶことができるようになっている。

三省堂では、各学年に「情報と関係づける」として、「情報の扱い方」に関する単元を設けている。また、各教材に「思考の方法」を位置付けて、言葉による見方・考え方をはたらかせ、情報と情報の関係を捉えたり、考えを整理し、深めたりする方法を学習する内容になっている。資料編には、情報リテラシーを高めるための教材を掲載している。

教育出版では、「学びナビ」を教材冒頭に位置付け、語彙と情報の扱い方を関連付けた「思考」を取り上げて、文章などの理解力や自らの表現力を高められるよう工夫している。「メディアと表現」を設け、生徒が日常で接する多様なメディアに対する知識と活用を高めることができるようになっている。

光村図書では、情報について「思考のレッスン」や「情報整理のレッスン」で、情報の扱い方を解説し、各学

年に単元「情報社会を生きる」を設けて、図表の読み取りやメディアの特性、情報の信頼性の確かめ方について実践的に学べるようになっている。

委員 ・ 生徒が「主体的・対話的で深い学び」に向かうためにどのような工夫がされているか。

専門員
代表 ・ 東京書籍では、各教材を「目標」「問いかけ」「言葉の力」「振り返り」という学習の流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり、振り返ったりできるようになっている。

「言葉の力」「対話」などの設定により生徒が言葉に着目し、言葉による見方・考え方はたらかせながら、言語活動に取り組み、学びを深められるようになっている。

三省堂では、各教材の冒頭に目標が明示され、見通しをもって主体的に学習を進め、教材の最後には学習を振り返る機会が設けられ、身に付いた力を確認できるようになっている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では「学習のポイント」で、「読むこと」の教材では「学びのみちしるべ」の「学びを広げる」で言語活動が設定され、対話をとおして学びを深められるようになっている。

教育出版では、各教材の冒頭に「学びナビ」を位置付け、生徒が自覚的に学ぶための「知識」と「方法」を具体的に示している。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の教材をとおして生徒の交流活動を設け、相互に課題を交換しながら主体的・対話的で深い学びに迫ることができるようになっている。

光村図書では、各教材で「学習」（手引き）によって学習過程が明示されて、生徒の主体的な学びが促され、対話によって学びを深めて、終わりに振り返りで学んだことを確認するようになっている。「言葉の窓」では汎用的な読みのポイントが示され、「深い学び」につながる具体的な手立てとして示されている。

委員 ・ 「日本の言語文化に関する指導の改善・充実」についてはどのように扱われているか。

専門員
代表

・東京書籍では、各学年で古典作品が写真資料とともに掲載され、作品のあらすじや歴史的背景も紹介されて、古典を深く理解し、鑑賞できるようになっている。詩歌は各学年3つの教材と扉に1年生は詩、2年生は短歌、3年生は俳句がそれぞれ7編掲載されており、一年を通じて日本の豊かな言語文化に親しめるようになっている。

三省堂では、各学年の古典教材に折込ページが付いており、写真や鑑賞に必要な解説が掲載され、古典への興味や学習意欲が喚起されるようになっている。詩歌は各学年2～3つの教材がある。各学年資料編の「古典芸能に親しむ」には「落語・歌舞伎・能・狂言の世界」など多様な作品が収録されており、日本の伝統芸能の世界にも親しむことができるようになっている。

教育出版では、各学年に古典作品と近代文学を取り上げる単元が設けられている。付録の「言葉の自習室」にも古典作品があり、古典や伝統芸能に関する教材から、古典学習を深められるようになっている。詩歌は各学年3つの教材と「四季のたより」（和歌・俳句）が4つあり、「四季のたより」からは古典作品と日本の季節感の相互の関係を読み味わえるようになっている。

光村図書では、1年の「古典の世界」で、3年間で学習する古典を見通せるようになっている。各学年の古典学習には音読を楽しむ教材があり、古典作品の理解を言葉の響きからも深められるようになっている。詩歌については各学年4～5つの教材と「季節のしおり」が4つ設けられている。「季節のしおり」からは日本人の季節に対する感性に触れたり、季語の語感を味わったりすることができる。

議長

・他に質問はあるか。
(質問なし)

議長

・続いて、書写の報告をお願いします。

専門員
代表

・書写の調査研究結果を報告する。
(報告書に基づいて4者について報告する。)

- | | |
|-----------|--|
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ただいまの報告について質問はあるか。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「国語や他教科、日常生活等と書写との関連」についてはどのように扱われているか。 |
| 専門員 代表 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京書籍では、「生活に広げよう」という単元を設け、1年生で「案内の手紙を書こう」など3教材、2年生で「本のポップを書こう」など2教材、3年生で「思いを文字で表そう」の1教材の計6教材で指導できるようになっている。また、書写活用ブックを適宜使うことで新聞やポスター、電子メール等の書式について学べるようになっている。 三省堂では、「書いて身につけよう」を設け、1年生ではがきの宛名書きなど6教材、2年生で47都道府県名など4教材の計10教材と、各学年の「やってみよう」にある、それぞれ1教材ずつ指導できるようになっている。また、資料編には、便せんと封筒の書き方や時候の挨拶、送り状等の書式について学べるようになっている。 教育出版では、「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」を設け、1年生で縦書きノートの例など6教材、2年生で新聞を書くなど4教材、3年生で卒業メッセージカードなど3教材の計13教材で指導できるようになっている。また、巻末の「書式の教室」には、往復はがき、包み紙の書き方などについて学べるようになっている。 光村図書では、「国語・学校生活」を設け、1年生で目標を書こうなど2教材、2年生で行書を活用しようなど3教材、3年生で冊子にまとめようなど2教材の計7教材と、書写ブックの各学年にある「名文を書こう」などと合わせて指導できるようになっている。また、巻末の「日常に役立つ書式」では手紙の書き方や送り状の書き方などについて学べるようになっている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆と硬筆の関連が必要だと言われているが、各者どのように取り扱われているか。 |
| 専門員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京書籍では、各教材で硬筆文字から課題を意識さ |

代表

せ、毛筆で書いて確認し、硬筆で他の文字を書くようになっていいる。硬筆練習教材「書写活用ブック」で、毛筆での学習内容を硬筆にも生かせるように関連を図っている。

三省堂では、毛筆で学習したあとに、硬筆で書いて練習する「書いて身につけよう」を設置し、関連を図っている。毛筆で学習した内容を他教科や実生活でも硬筆で活用できるように、実際に書き込むことで確認できるようになっている。

教育出版では、毛筆で学習した運筆方法を、硬筆の他の文字に転移できる教材が例示されている。基本学習の単元の終わりに、毛筆で学習したことを硬筆で確認できる「学習を生かして書く」という教材を設けている。

光村図書では、各教材で毛筆での学習が生きるよう「生かそう」という教材を設定している。硬筆練習帳「書写ブック」で、毛筆教材文字と同じ学習要素をもった硬筆の課題を設定している。

議長

- ・他に質問はあるか。
(質問なし)

議長

- ・それでは国語と書写の報告は以上とする。
続いて、社会と地図の報告をお願いします。
はじめに、社会(地理的分野)の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員
代表

- ・地理の調査研究結果を報告する。
(報告書に基づいて4者について報告する。)

議長

- ・ただいまの報告について質問はあるか。

委員

- ・防災や安全について各者どのような取り上げ方をしているか。

専門員
代表

- ・東京書籍では、地震や津波の仕組み、防災・減災の取り組みを取り上げる「もっと地理」を設けている。東日本大震災以降の社会づくりに参画する態度を養うものとなっている。

教育出版では、「地理のまど」など、地形、自然災害と防災、開発と環境保全に関する具体的な事例を多く取り上げている。自分たちの暮らしとの関わりについて関心と考察を深めることができるように構成されている。

帝国書院では、ハザードマップの読み取り方など、防災に関わる技能を習得できる活動を設けている。自分自身や周囲の人々の生命を守るための情報活用能力を育成するように構成されている。

日本文教出版では、災害について様々なところで触れていて、ハザードマップの使い方を通して身につけることができる教材などがある。また、自助・共助・公助の実践なども記載されている。

委員

- ・ 課題を追究したり解決したりする活動の充実を図るための各者の工夫について教えてもらいたい。

専門員
代表

- ・ 東京書籍では、各単元の学習を単元全体を貫く問いである「探究課題」と、探究課題の解決を補助する問いである「探究のステップ」、1 単位時間の学習のめあてである「学習課題」の3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題を解決していくように工夫されている。

教育出版では、考察する力、説明する力を育む学習活動を重視していて、「読み解こう」のコーナーを設けている。資料を読み取りながら、具体的な手がかかりや問いかけをもとに、地図やグラフなどの資料活用を中心とした読解力が身につくような工夫がある。

帝国書院では、章全体に毎時間、課題がある。「節の学習を振り返ろう」として、地域に見られる課題の解決に向けて考え、構想を深める活動が設定されている。その下段には、学んだ地域の課題と自分たちとの関わりを意識させるコーナーも設けられている。

日本文教出版では、世界や日本の諸地域における「地球的課題」「地域の課題」について、「チャレンジ地理」や「アクティビティ」といった課題追究の場面を設け、単元を通じた深い学びができるよう工夫されている。

- | | |
|-----------|--|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して生徒が主体的に学ぶことができるようにするために、各者どのようなコンテンツが用意されているか。 |
| 専門員 代表 | <ul style="list-style-type: none"> 東京書籍では、Dマークや二次元コードなどから専用のウェブページを見ることができ、生徒のつまずきを補う動画などがある。また、歴史や公民の関連する紙面や、他教科の紙面を確認することもできる。教育出版では、「まなびリンク」を設け、QRコードやURLから専用のウェブサイトを見ることができ、個人でさらに追究したり、グループで調べ学習を進めたりする際の情報収集に活用できるものとなっている。 帝国書院では、二次元コードの利用で、教科書掲載の資料の一部や、章末の問題の解答を閲覧できるようになっている。また、「地球儀での距離と方位の調べ方」など、「技能」に関する動画も見ることができる。 日本文教出版では、「デジタルマーク」を表示し、理解を助けるための動画などのコンテンツが閲覧できるようになっている。挿絵や章末などの問題の解答やワークシートも閲覧できるようになっている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国の領域について、各者どのように取り上げているか。 |
| 専門員 代表 | <ul style="list-style-type: none"> 東京書籍は、日本の領域について学習する単元で、我が国が抱える領土をめぐる問題やその地理的な背景を取り上げ、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であるといった取り上げ方をしている。 教育出版では、日本の領土をめぐる今日的課題や領土・領域などについて理解を深める学習を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うといった取り上げ方をしている。 帝国書院では、日本の領域の範囲とその特色について図などにより扱っている。そして、日本の立場は国際法に則っていることを解説し、国際社会を尊重する姿勢を養うといった取り上げ方をしている。 日本文教出版における日本の領域に関する学習は、 |

領域保全のための様々な活動を取り上げ、我が国を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うといった取り上げ方をしている。

議長 ・ 次に、社会（歴史的分野）の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員代表 ・ 歴史の調査研究結果を報告する。
（報告書に基づいて6者について報告する。）

議長 ・ ただいまの報告について質問はあるか。

委員 ・ 歴史は小学校でも学習するが、小学校の学習との関連付けにはどのような工夫があるか。

専門員代表 ・ 東京書籍では、第1章で小学校社会科で学習した人物などを振り返る活動を設けている。また、各単元の導入でも小学校の内容を用語や写真で振り返る工夫がある。

教育出版では、第1章で、小学校で学習した歴史上の人物などを振り返りながら、時代区分や年表の見方を確かめる活動が設定されている。また、小学校で学習した人物にはマークを付けている。

帝国書院では、「歴史をたどろう」や節の冒頭に設けた時代を概観するイラスト「タイムトラベル」において、小学校で学習した人物や既習事項からの接続に配慮した工夫がある。

山川出版では、「歴史を大きく変えた人物」に、小学校で学習した人物から、時代区分を学ばせる工夫がある。また、小学校で学んだ人物や歴史の知識をふまえて学べるような記述になっている。

日本文教出版では、第1編の「私たちと歴史」で、小学校の学習を振り返りながら、「歴史的な見方・考え方」を学ぶことができる構成になっている。また、学習した歴史上の人物などがイラストなどで紹介されている。

育鵬社では、序章の課題学習「歴史人物Q&Aカードをつくろう」において、小学校で学んできた歴史人物についての調べ学習を行いながら、生徒が時代の区分

やその移り変わりに気付くよう工夫されている。

委員 ・ 課題を追究したり解決したりする活動の充実を図るための各者どのような工夫があるか。

専門員
代表 ・ 東京書籍では、各単元の学習を単元を貫く問いである「探究課題」、節の課題である「探究のステップ」、1単位時間のめあての「学習課題」の3段階の問いで構造化し、段階的に課題解決していく工夫がある。
教育出版では、特設ページ「チャレンジ歴史」を設け、歴史について自分で考えたり、対話したり、複数の資料を読み取って考える学習や選択・判断させたりするなど、歴史の面白さを体験する工夫がある。
帝国書院では、章・節などのページ冒頭に、単元を貫く問い「章の問い」「節の問い」「学習課題」を設定し、生徒が学習の見通しをもって、段階的に課題解決できるように工夫した構成となっている。
山川出版では、毎時間の学習課題の設定が随所に見られ、「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」のページをはじめ、各単元の冒頭に課題や発問を掲載することで、生徒一人一人が課題を追究できるように工夫している。
日本文教出版では、この1時間で何を学ぶのか、どのような視点や方法に着目して学習を深めるかを、「学習課題」と「見方・考え方」を明示し、思考の流れに沿った学習ができる工夫がされている。
育鵬社では、各単元の学習のねらいを明確に示すとともに、生徒の課題意識を喚起する発問が設定されている。また、「つかむ→調べる→まとめる→表現する」といった問題解決型学習の教材配列となっている。

委員 ・ 歴史について考察する力や説明する力を育成することが一層重視されているが、考察する力や説明する力を育成するためにどのような工夫がなされているか。

専門員
代表 ・ 東京書籍では、「トライ」という項目が設定されており、社会科3分野において同一の写真・グラフ・地図を掲載し、他分野関連のマークも示していて、一つの事象を地理・歴史・公民の各分野の視点から考察した

り説明したりする力を育てる工夫がある。

教育出版では、本文の学習の流れに即して、歴史資料の読み解きを示唆する「読み解こう」や「Q」などの問いが設けられている。時代の特色を考察したり、説明したりする学習活動が行える工夫がある。

帝国書院では、「多面的、多角的に考えてみよう」や各時代を概観するイラスト「タイムトラベル」を設け、前の時代と比較したり、疑問点を発見したりするといった考察をしたり、説明したりする学習活動が行える工夫がある。

山川出版では、多角的・多面的に考察する力、説明する力を養えるよう「歴史へのアプローチ」や「歴史を考えよう」を設定している。時代を通した視点・グローバルな視点でみたテーマなど、10のテーマを取り上げるといった工夫がある。

日本文教出版では、導入ページに、適切な「問い」である「学習課題」、課題解決の手がかりとなる「見方・考え方」をそれぞれ設定し、生徒自らが考察し、説明できるような工夫がある。

育鵬社では、各章末の「章のまとめ」に、生徒が各時代の特色について意見交換をするための課題や各時代の特色を短い文章でまとめる課題などがあり、考察し、説明する活動が設定されている。

委員 ・ 我が国の伝統や文化に対する理解を深めるために、どのような工夫がなされているか。

専門員
代表 ・ 東京書籍では、「伝統・文化」について、「歴史にアクセス」や「もっと歴史」などで取り上げている。また、歴史の中で残されてきた国宝や重要文化財などには特別なマークを付けて、我が国の文化に目を向け、尊重する態度を養う工夫がされている。

教育出版では、「身近な地域の歴史」を調べる学習として、郷土の伝統・文化への関心を高める着眼点を紹介したり、学び方の手がかりを「地域調査の手引き」として示唆したりしている。国宝や重要文化財などには特別なマークを付けて紹介している。

帝国書院では、日本の伝統と文化に関する教養と愛着を育てるよう、各地のさまざまな伝統行事や祭りを取

り上げ、日本の文化の多様性に気付かせたり、文化財などの写真を豊富に掲載し、文化の担い手となった人々の努力や工夫を描いたりしている。

山川出版では、美術作品・史跡などの図版に、そこから何が読み取れるかといった発問があり、そこから考察し、歴史を学ぶことができる工夫がある。また、世界遺産と日本の国宝の写真にはマークを付けて、わかりやすくする配慮がされている。

日本文教出版では、身近な地域や先人から伝統や文化の歴史を学ぶことができる「地域に学ぶ」「先人に学ぶ」が各所に設定されている。また、「歴史を掘り下げる」では、文化財の保存修理の仕事などのテーマを取り上げるなどの工夫がされている。

育鵬社では、序章の課題において、身近な地域の祭りの由来等を調べる活動によって、自分たちが住む地域の歴史の関心を高め、日本の伝統と文化の特色を理解するコラムや資料も多く掲載されている。

議長 ・ 次に、社会（公民的分野）の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員代表 ・ 公民の調査研究結果を報告する。
（報告書に基づいて6者について報告する。）

議長 ・ ただいまの報告について質問はあるか。

委員 ・ 共生社会の実現に向けた内容について、どのように扱われているか。

専門員代表 ・ 東京書籍では、第2章導入「ちがいのちがい」で身近な事例から人権について考える活動があり、「もっと公民」において共生社会を目指す具体的な事例が掲載され、人権意識を高めようとする内容となっている。教育出版では、SDGsの17の目標と自己との関わりから、私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成する活動の中で、持続可能な多文化共生社会の形成に参画しようとする態度を養う内容となっている。帝国書院では、「よりよい社会を目指して」において、具体的な事例を取り上げ、実社会の人々が協働して社

会的な課題の解決に取り組む姿から、公共の精神や社会参画の意義を捉えられるよう工夫されている。

日本文教出版では、「まちのバリアフリー」などの身近な地域の課題について考え、社会参画を促す手がかりとなる「明日に向かって」が設定されている。また、全体をとおしてSDGsについて考えられるよう工夫している。

自由社では、学習内容を明確にするために設けられている「ここがポイント」に、現代の日本の諸課題が多く掲載され、現代社会に主体的に関わろうとする態度が養えるよう工夫されている。

育鵬社では、人権尊重の理解を深める身近でわかりやすい教材が多く紹介されている。また、多文化共生等の学習をとおして、ともに生きる社会とはどういうことか考え、行動できる力を育成するよう工夫されている。

委員 ・ 課題を追究したり解決したりする活動の充実を図るために各者どのような工夫があるか。

専門員
代表 ・ 東京書籍では、単元全体を貫く「探究課題」、1単位時間ごとの「学習課題」、そして「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で、問いを軸にして単元が構造化され、課題解決的な学習を進めやすくなっている。

教育出版では、6つの表現活動で構成された「言葉で伝え合おう」の特設ページを中心に、グループによる学習活動がバランスよく設定され、協働学習をもとに課題を追究、解決する活動が設定されている。

帝国書院では、単元を貫く「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」というように問いが構造化され、単元のまとまりの中で課題を解決する活動ができる構成になっている。

日本文教出版では、現代社会の見方・考え方を働かせながら学習理解を深める38テーマの「アクティビティ」や、社会の課題について考察・構想する「チャレンジ公民」が設定されている。

自由社では、「やってみよう」で資料を基に話し合ったり、考えたりする活動が設定されている。各章の最

後に学習を発展させるためにテーマを選択・考察し、表現する「学習の発展」が設定されている。
育鵬社では、1単位時間の中で、「つかむ」「調べる」「まとめる」といった問題解決型の学習過程を明確にし、課題を解決したり、追究したりする活動が行えるよう工夫している。

委員 ・ 現代社会の見方・考え方を働かせる学習の一層の充実が求められているが、現代社会の見方・考え方を働かせるためにどのような工夫がなされているか。

専門員代表 ・ 東京書籍では、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるような工夫がある。
教育出版では、「学習の『見方・考え方』」を提示するコーナーが設定され、「見方・考え方」を働かせ、学習を深めていける工夫がある。
帝国書院では、「アクティブ公民」など、公民的分野で鍛える「見方・考え方」の活用機会が設定されている。
日本文教出版では、各編末にシンキングツールが設けられ、多様な視点から見方・考え方を働かせられるようになっている。
自由社では、見方・考え方を働かせる「アクティブに深めよう」が設定されている。
育鵬社では、現代社会の見方・考え方の基礎である対立と合意、効率と公正の視点を取り入れた内容が多数設けられ、また、「学習を深めよう」では、多様な視点から課題を解決することができるよう工夫されている。

委員 ・ 成人年齢の引き下げや選挙年齢の引き下げに伴う各者の対応はどのようになされているか。

専門員代表 ・ 東京書籍では、「自立した消費者」として、契約の注意点等を学習するページがある。また、選挙年齢引き下げに対応し、実際の選挙の流れを概観するページが掲載されている。
教育出版では、「民主政治と日本の政治」において、

18歳選挙権に関する学習を行う。主権者として政治参加することへの理解を深められるよう工夫している。

帝国書院では、高校生の投票を掲載し、選挙権年齢の引き下げを意識できるよう工夫されている。

日本文教出版では、18歳選挙権に向けて政治への関心が高まるよう、「明日に向かって」で主権者教育の充実が図られている。

自由社では、「もっと知りたい」というページが設定され、選挙などの国民の政治参加との関連について考察できるよう工夫されている。

育鵬社では、政治参加などに関する教材が掲載され、社会に参画する意欲と態度を育てる学習ができる工夫がされている。

議長 ・ 次に、地図の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員
代表 ・ 地図の調査研究結果を報告する。
(報告書に基づいて2者について報告する。)

議長 ・ ただいまの報告について質問はあるか。

委員 ・ 地域の特徴を捉えやすくするために、どのような工夫がなされているか。

専門員
代表 ・ 東京書籍では、郷土料理や伝統的工芸、世界遺産を取り上げた地図や写真を掲載し、また、ご当地キャラクターを取り上げる工夫もある。
帝国書院では、伝統的工芸品や世界文化遺産、そして、伝統的な祭りなどが掲載されていて、各地の文化の関心が高まるように工夫されている。

委員 ・ 様々な資料を活用する力を高めるために、どのような工夫がなされているか。

専門員
代表 ・ 東京書籍では、社会科の3分野との連携が図られている。歴史や公民分野の学習で活用できる資料には、歴史・公民マークをつけるなど、3年間の学習全体で活用できる工夫がされている。

帝国書院では、教科等横断的な活用ができる地図帳というコンセプトで作成されている。例えば、社会以外の教科でも活用できるようにしている。また、理科で活用できるように地震の震源が確認できる資料を掲載している。

議長

- ・他に質問はあるか。
(質問なし)

議長

- ・それでは社会と地図の報告は以上とする。
続いて、数学の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員
代表

- ・数学の調査研究結果を報告する。
(報告書に基づいて7者について報告する。)

議長

- ・ただいまの報告について質問はあるか。

委員

- ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った学習活動を進めるために、各者でどのような工夫が見られるか。

専門員
代表

- ・東京書籍では、側注の「問題をつかむ」「見通しを立てる」「問題を解決する」「振り返る」「深める」の過程に沿って、生徒自らが考え対話を通して学習が進められるようにされている。

大日本図書では、導入の活動で主体的な気持ちを引き出し、その後の学習では学んだいくつかの項の内容を総合して考えられるように、自然に学習を深められる工夫がされている。

学校図書では、話し合いをベースに、生徒が主体的に問題発見から課題解決、さらに新たな問題を発見する過程を協働的に行える構成になっている。

教育出版では、生徒から多様な考えが出てくる問題を取り上げ、問題解決のプロセスを示したページにより、みんなで学習活動ができるようにされている。

啓林館では、自分の考えを表現する場を「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」に用意し、対話による表現力が育成できるようになっている。

数研出版では、生徒達と先生による対話が各所に設けられており、多様な方法を考えたり、考えたことを他

者に表現したりする機会が豊富に設定されている。
日本文教出版では、深い学びを実現できるように、自分で考え、対話を通して学び合う問題解決の過程が示されている。

委員

- ・ 数学のよさを実感し、実生活において数学を活用することができるように、各者でどのような工夫が見られるか。

専門員
代表

- ・ 東京書籍では、実社会での活用例を紹介し、数学とのつながりが実感できるよう工夫され、他教科との連携した題材も掲載されている。
大日本図書では、学習課題を日常生活から選択し、数学の有用性が実感できるよう構成されている。
学校図書では、コラムや章末で数学の有用性を紹介することで数学のよさを実感できるよう配慮されている。
教育出版では、疑問や説明を求める問いかけを取り入れ、数学的活動を効果的に取り組めるよう配慮されている。
啓林館では、単元の導入で「学習のとびら」を設定し、数学が生活や社会の中で有用に働いていることを実感できるよう工夫されている。
数研出版では、対話による数学的活動に取り組みやすいよう工夫されている。
日本文教出版では、身近なことから数学として捉えて考える過程を示し、実感を伴う学習に取り組めるようになっている。

委員

- ・ 生徒が数学的活動に主体的に取り組み、数学を学ぶ過程を大切にするためにどのような配慮がなされているか。

専門員
代表

- ・ 東京書籍では、問題解決の過程を重視した「深い学び」を設定し、主体的な学びを促す場面提示や発問が取り入れられている。
大日本図書では、数学的活動の流れを巻頭に掲載し、写真やイラストから生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。

学校図書では、日常生活を数理的に捉えることで主体的に数学的活動に取り組み、さらに新たな課題が発見できるよう解決の過程が明示されている。

教育出版では、巻頭で多様な考えを促し、学習の過程を細かく分類して明示することで、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。

啓林館では、「学びのあしあと」を設け、自らの学習を調整できるようにすることで、主体的に学習に取り組む態度を養えるようになっている。

数研出版では、無理なく取り組める課題を設定し、身近な事象や興味深い課題も掲載することで生徒の主体性を促している。

日本文教出版では、小節ごとに学習のめあてを示すことで、生徒が目的意識を持って主体的に学習に取り組むことができるようになっている。

議長

- ・他に質問はあるか。
(質問なし)

議長

- ・それでは数学の報告は以上とする。
続いて、理科の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員
代表

- ・理科の調査研究結果を報告する。
(報告書に基づいて5者について報告する。)

議長

- ・ただいまの報告について質問はあるか。

委員

- ・理科への興味・関心を高めたり、知識・技能の基礎・基本を身に付けさせたりするために、各者どのような工夫があるか。

専門員
代表

- ・東京書籍では、章ごとに見通しとふり返りが確認できる「ビフォー アンド アフター」があり、つまずきやすい箇所にはデジタルコンテンツが設定されている。また、単元末の「学習内容の整理」で用語の確認をしたり、「確かめと応用」で学習内容の理解を確認したりできるようになっている。

大日本図書では、単元のはじめに既習とこれからの学習内容を写真やイラスト入りで掲載することで、章の

導入に関心をもたせている。また、章末にキーワードとその説明がまとめて掲載されており、学習内容の習得状況を確認することができるようになっている。さらに、単元末問題も掲載されており、理解できていない箇所を確認することができる。

学校図書では、各章ごとに「キャンドゥリスト」や章末のQRコードで、基礎・基本的な学習内容の習得の状況を確認できるように工夫されている。また、つまずきやすい箇所にもQRコードがあり、知識を習得できるようになっている。

教育出版では、各章の1ページ目の写真を大きく掲載し、導入に関心をもたせている。また、各単元末に「要点と重要用語の整理」「基礎問題」が設定されており、習得の状況を確認できるようになっている。さらに巻末には「基礎技能」がまとめて掲載されており、観察・実験の際に容易に確認できるように工夫されている。啓林館では、興味・関心を高めるため、写真やイラストが豊富に掲載されている。また、つまずきやすいところには「なるほど」を掲載したり、補足資料としてQRコードで参考情報が閲覧できたりして、基礎・基本の定着が図れるようになっている。

委員 ・ 深い学びにするために、各者どのような工夫が見られるか。

専門員
代表 ・ 東京書籍では、学習内容と日常生活がつながるものや社会で活躍する人たちがどうやって課題を解決しているかなどを紹介した多彩なコラムが掲載されており、学ぶ意欲を高め、深い学びに導けるように工夫されている。

大日本図書では、単元末の「探究活動」を中心に、学習内容とのつながりのある発展的な内容を掲載して、生徒の知的好奇心や探究心に応じて学びが深められるようになっている。

学校図書では、すべての探究活動の最後に「ふりかえり」があり、観察・実験結果や考察で得た知識を活用して、深い学びに取り組めるように構成されている。教育出版では、各章の導入として「学習前の私」が、章末には「学習後の私」が掲載されており、学習をとおし

て科学的な答えができるようになった自分を実感できるようになっていく。

啓林館では、単元のはじめと終わりにある「学ぶ前にトライ」「学んだあとにリトライ」により、学習前後の変容が見られる構成になっている。また、日常生活や社会に関連したコラムを掲載し、学習で得た知識を活用できるように工夫されている。

委員

- ・生徒が科学的に調べたり、問題を解決したりするために、それぞれの教科書にどのような工夫が見られるか。

専門員
代表

- ・東京書籍では、随所に探究の課程を示した言語を配置し、言語活動を充実させることで、生徒が主体的に探究的な学習に取り組めるよう工夫されている。
大日本図書では、観察・実験において、疑問を提示するとともに、目的、着目点を分けて明記し、探究の過程が明確になるように工夫されている。
学校図書では、探究活動では、全てのページにおいて、探究を過程に分解して表現しており、探究の流れを意識できるように工夫されている。
教育出版では、各単元に位置付けられた「疑問から探究してみよう」により、科学的に探究する力を重点的に育成できるように配慮されている。
啓林館では、仮説や計画などを生徒自身が考える「探Q実験」を単元に1つずつ設けており、問題解決の仕方を体験できるようになっている。

議長

- ・他に質問はあるか。
(質問なし)

議長

- ・それでは理科の報告は以上とする。
続いて、音楽の報告をお願いします。
はじめに、音楽(一般)の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員
代表

- ・音楽(一般)の調査研究結果を報告する。
(報告書に基づいて2者について報告する。)

| | |
|-----------|--|
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ただいまの報告について質問はあるか。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 時代の変化に応じて掲載内容を工夫している点はあるか。 |
| 専門員 代表 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育出版の教科書では、「学びを支えるWEBサイト」が教材ごとにあり、音楽の学習を深めるものであったり、音源として活用できるものであったりする。また、コンピュータと音楽の関わりについても掲載されていて、楽曲の作成について解説されている。合唱曲については、山崎朋子、松下耕などの作曲家の曲等が入るなど、新曲が増えている。 <p>教育芸術社の教科書では、2次元コード読み取りによるWEBサイトを教材ごとに載せていて、知識・理解を深めたり資料が充実していること、さらに音楽をプレゼンテーションの手法で紹介させていること、現代の演奏家についての写真や資料を多く取り入れ、広く音楽文化について興味をもてるよう工夫している点が、今の時代を反映している。また合唱曲については、山崎朋子、相澤直人などの作曲家の曲等を入れて、新曲も増えている。</p> |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が主体的・対話的に学ぶために有効な点はあるか。 |
| 専門員 代表 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育出版では、主体的な学びとして、学びのユニットが示されている。学びのユニットには学びのねらい、学びの手がかりとなるヒント、学びを深めるための活動等が載せられている。それと関連して、教材一つ一つに学びのねらいと活動目標が書かれていて、生徒の主体的活動を促す文言になっている。 <p>また、対話的な学びについては鑑賞のページに「何が同じで何が違う」というように楽曲同士を比較することで、対話的な学びができるように工夫されている。</p> <p>教育芸術社の教科書では、主体的な学びとして、教材ごとに学びの地図が示されている。学びの地図には、何を学習するのかを共通事項と関連させて確認ができる。また、楽曲には、学習活動が明確にわかる目標が太文字で掲載されていて、生徒の主体的活動を促す工</p> |

夫がされている。対話的な学びについては、工夫しましょうのコーナーにキャラクターによる吹き出しの言葉があり、それを見て、生徒がどのように対話をすればよいか分かる。また、鑑賞教材ではワークシートが多く使われていて、根拠を書かせる欄があり、それをもとに生徒同士で対話的な学びができるように工夫されている。

議長 ・ 次に、音楽（器楽合奏）の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員
代表 ・ 音楽（器楽合奏）の調査研究結果を報告する。
（報告書に基づいて2者について報告する。）

議長 ・ ただいまの報告について質問はあるか。

委員 ・ 限られた時間数で楽器の奏法を習得するのは難しいと思われるが、工夫されている点はあるか。また、三味線など学校には置いていない楽器について、それぞれの教科書をどのように活用して生徒に指導するか。

専門員
代表 ・ 教育出版では、リコーダーを吹く時の姿勢・構え方など基本的な奏法について、見るだけでもわかるよう詳しく書かれている。生徒の自習もでき、授業時間外での予習復習をすることで授業での学習の効率を上げることが可能である。また、新出音の運指が楽譜のページの両端に大変わかりやすく掲載されていて、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されているため、教師が全体に説明する時間を大幅に短縮することが可能になり、授業の効率化を図ることができる。また、三味線については楽器の基本的な仕組みについて詳しく記載され、興味をもてるようになっており、開放弦の音は容易に弾くことができるので、楽器の仕組みを理解させた上で開放弦の音を出させて体感させるという指導ができる。学校に置いてなくても、楽器屋からのレンタルで二、三挺あれば全員の生徒に楽器体験をさせることが可能である。
教育芸術社では、リコーダーでの美しい音を出すことを目的として、タンギングやアーティキュレーション

についても丁寧に解説されている。生徒は主体的に学習を深めることができ、授業を効率よく進めることができる。また、運指については楽曲の両端に掲載され、支えとなる共通事項についても掲載されている。グループアンサンブルなどでも生徒が主体的に取り組む方策が掲載されており、授業の効率化を図ることができる。また、三味線については楽器の基本的な仕組みについて詳しく、さらに発展的な内容も記載されている。音出し体験については、こきりこ節の一節を使うなど、やや難易度が高いため、楽器をレンタルするにしても十挺以上で長めの期間が必要となる。日本音階と関連付けたり、歌を入れたりなど、深い学びになっているので、指導者にも、三味線の高い知識・技能が必要となる。

議長

- ・他に質問はあるか。
(質問なし)

議長

- ・それでは音楽の報告は以上とする。
続いて、美術の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員
代表

- ・美術の調査研究結果を報告する。
(報告書に基づいて3者について報告する。)

議長

- ・ただいまの報告について質問はあるか。

委員

- ・美術文化について実感的な理解を深める学習を充実させるために工夫している点はあるか。

専門員
代表

- ・3者ともデザイン・工芸の題材で生活を豊かに美しくする造形や美術の働きに美術文化に触れている。
開隆堂では、これに加えて「暮らしに生きる美術」「生活に生きる伝統工芸」「伝統と創造」等の頁を設けて内容を充実させている。
光村図書では、学習を支える資料の中で、「日本の伝統工芸」「日本の世界文化遺産」「地域と美術とのつながり」「美術の力」等の頁を設けて内容を充実させている。
日本文教出版では、表紙も含め「建築に見られる美術」

| | |
|--------------|--|
| | <p>「社会に生きる美術の力」「あなたの美を見つけて」 「暮らしやすさのデザイン」「受け継ぐ伝統と文化」 等の頁を設けて内容を充実させている。</p> |
| 委 員 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が「主体的・対話的で深い学び」で資質・能力が育めるようどのような工夫がされているか。 |
| 専 門 員 代 表 | <ul style="list-style-type: none"> 3者とも表現領域と鑑賞領域をバランス良く組み合わせ、主題を明確にする活動、主題を実現する活動、鑑賞活動のそれぞれで「主体的・対話的で深い学び」ができる内容構成になっている。 開隆堂では、特に図版や部分を拡大した図版を用いて生徒の学習意欲を刺激する工夫が見られる。 光村図書では、特に、美術に関する言葉として、詩やメッセージを用いて、生徒の考えを刺激する工夫が見られる。 日本文教出版では、特に、社会との関連が深い作品や、社会へのメッセージが強い作品を用いて、生徒に問題提起をする工夫がある。 |
| 議 長 | <ul style="list-style-type: none"> 他に質問はあるか。 (質問なし) |
| 議 長 | <ul style="list-style-type: none"> それでは美術の報告は以上とする。 次に、保健体育の調査研究結果の報告をお願いします。 |
| 専 門 員 代 表 | <ul style="list-style-type: none"> 保健体育の調査研究結果を報告する。 (報告書に基づいて4者について報告する。) |
| 議 長 | <ul style="list-style-type: none"> ただいまの報告について質問はあるか。 |
| 委 員 | <ul style="list-style-type: none"> 学んだ知識や技能が実際の生活で生かされるように、各者でどのような工夫が見られるか。 |
| 専 門 員 代 表 | <ul style="list-style-type: none"> 東京書籍の「新しい保健体育」では、各単元に「活用する」の項目を、各章末の「学習のまとめ」に「活用の問題」、「日常生活に生かそう」を設け、考えたり記入したりするようになっている。 大日本図書の「中学校 保健体育」では、各単元にあ |

る「活用して深めよう」で、学習内容をどのように生活に生かすか考えるとともに、各章末の「学びを活かそう」で、より深く確認する課題に対して、考えを記入するようになっている。

大修館書店の「最新 中学校保健体育」では、各単元に「学習のまとめ」を、各「章のまとめ」に「思考・判断・表現の問題」や「課題に向かって」「学びに向かって」を設け、考えたり記入したりしながら学習を日常生活に生かし、学びを確認する構成になっている。また、「教科書の使い方」及び「保健体育の学び方」にも、学んだことを生活改善や家庭地域の方に教えることが示されている。

学研教育みらいの「中学校保健体育」では、各単元に「まとめる・深める」を設け、考えたり伝えたりする構成になっている。また、各「章のまとめ」の「生かそう」と「生活への活用」に、考えを記入するようになっている。

さらに、各者とも実習では、マーク等で示すとともに、わかりやすいイラストや写真を用い、技能を習得しやすくして、実生活に活かせるよう、丁寧な説明になっている。

委員

- ・ 資料の掲載について、各者でどのような工夫が見られるか。

専門員
代表

- ・ 4者すべての教科書において、QRコードを掲載し、デジタル教材やリンク先などを示して、タブレットなどを活用したインターネットでの資料検索や学習ができるようにされている。

東京書籍の「新しい保健体育」では、他学年や他教科の学習との関連が示され、学習したことを他の知識や事象と結び付けて考えることができるようになっている。

大日本図書「中学校 保健体育」では、本文と資料が左右のページで分けられており、本文の内容を学習してから資料を参照したり、先に資料から考察・推測を行ってから知識の習得を図ったりと、授業展開を工夫できるようになっている。

大修館書店の「最新 中学校保健体育」では、学習し

たことを広げたり、深めたりすることができるように「クローズアップ」や「巻末資料」が設けられている。学研教育みらいの「中学校保健体育」では、イラストや写真を効果的に配置し、詳しい資料や探究的な学習活動例が掲載されており、生徒の実態に応じて深い学びを促すことができるようになっている。

議 長

- ・他に質問はあるか。
(質問なし)

議 長

- ・それでは保健体育の報告は以上とする。
続いて、技術・家庭の報告をお願いします。
はじめに、技術・家庭（技術分野）の調査研究結果の報告をお願いします。

専 門 員
代 表

- ・技術・家庭（技術分野）の調査研究結果を報告する
(報告書に基づいて3者について報告する。)

議 長

- ・ただいまの報告について質問はあるか。

委 員

- ・技術分野では、とかく技能が重視されがちだが、社会とのつながりを踏まえた問題解決能力の育成についてはどのような工夫があるか。

専 門 員
代 表

- ・東京書籍は「理解する」「問題解決に取り組む」「つなげる、広げる」の流れで、学んだことを社会の発展と技術に生かそうとしている。また、問題解決のプロセスを示すほか、問題解決カードや思考ツール、豊富な問題解決例を活用することで、予測できない未来に対し、自らが主体的に問題を見出し、柔軟に問題解決に取り組むことができる資質・能力の育成を図っている。
教育図書は「技術の基礎内容」、「設計・計画」「社会の発展と技術」の流れで、社会と学習とのつながりを意識させようとしている。また、問題解決のプロセスを生徒が理解し易い4つのステップで示しているほか、技術のプラス面・マイナス面を理解して、未来の社会につなげられるように、自らの問題として捉えることのできる生徒の育成を図っている。

開隆堂は「知識や技能を身につける」「問題から課題を考え、ものを作ることで課題を解決する」「学習したことを社会に生かす」の流れで将来的にも技術に関心や課題意識をもてるよう工夫されている。また問題解決の流れを示しているほか、技術の最適化で求められるトレードオフの視点をもって繰り返し考えさせることで、実践的な問題解決力の育成を図っている。

委員

- ・プログラミング教育について内容が倍増されたが、「双方向性のあるコンテンツのプログラミング」の扱いについて、各者の特色を教えてください。

専門員代表

- ・どの発行者も、ひとつの章あるいは項目で取り扱っており、東京書籍は実用性の高い課題を解決するプログラムのアイデアや機能を幅広く生み出せるように、問題発見・課題設定のためのヒントや作品の構想・制作に必要な記載が豊富である。題材例として校内チャットシステムなど6例を掲載し、別冊付録「プログラミング手帳」は3種のプログラミング言語での操作方法を載せている。

教育図書はショッピングサイトを例に注文側のコンピュータと企業側のサーバとの間でのインターネットを介したやりとりを図で示し、双方向性のあるコンテンツを分かり易く説明している。題材例はバザーの案内マップなど3例を掲載し、別冊の技術ハンドブックに3種のプログラミング言語と操作方法を載せている。

開隆堂はプログラムによる問題解決に重点を置き、設計・制作の場面では必要画面やユーザインタフェースの設計に触れ、メディアの特徴やプログラムの使い易さ等を考えて制作できるようにしている。題材例はメッセージ交換アプリなど5例を掲載し、巻末資料に複数のプログラミング言語と操作方法を載せている。

議長

- ・次に、技術・家庭（家庭分野）の調査研究結果の報告をお願いします。

専門員代表

- ・技術・家庭（家庭分野）の調査研究結果を報告する。（報告書に基づいて3者について報告する。）

- | | |
|--------------|---|
| 議 長 | ・ ただいまの報告について質問はあるか。 |
| 委 員 | ・ 新学習指導要領では、新たに金銭管理の内容が追加されたが、各者でどのように取り扱われているか。 |
| 専 門 員 代 表 | <p>・ 東京書籍は「バランス良く計画的な金銭の管理」の中で「計画的な金銭の管理の必要性について理解できる」、「自分に合った金銭の管理の方法を考え、工夫できる」を目標に、「収入と支出」、「クレジットカードと三者間契約」、「金銭管理の方法」を述べている。具体的には、支出を書き出して収支のバランスを考えさせるほか、レシートの保管、小遣い帳やコンピュータによる管理に触れている。</p> <p>教育図書は「買い物をふり返ってみよう」の中で「消費者としての自覚をもつ」、「意思決定のプロセスにそって、商品購入を考えることができる」をめあてに、「計画的なお金の管理」、「買い物の意思決定のプロセス」を述べている。具体的には、欲しいものを書き出して優先順位を付け、必需的、選択的なものに分けることで購入計画の重要性を考えさせるほか、地域や季節等により支出が変動することにも触れている。</p> <p>開隆堂は「家庭生活における収入と支出」の中で「収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる」を目標に、「家庭の収入と支出」、「さまざまな消費支出」、「収入と支出（収支）のバランス」を述べている。具体的には、中学校入学時にかかる費用を書き出して実生活における消費支出を考えさせるほか、計画的な金銭管理で収支のバランスを図ることの大切さに触れている。</p> |
| 議 長 | ・ 他に質問はあるか。 (質問なし) |
| 議 長 | ・ それでは技術・家庭の報告は以上とする。 続いて、英語の調査研究結果の報告をお願いします。 |
| 専 門 員 代 表 | ・ 英語の調査研究結果を報告する。 (報告書に基づいて6者について報告する。) |

| | |
|-----------|--|
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ただいまの報告について質問はあるか。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校における外国語の教科化等に伴い、小学校の学習内容との接続がさらに重要になってくると思うが、小学校との学習内容の接続について、特に工夫しているところはあるか。 |
| 専門員 代表 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京書籍では、小学校での活動、アルファベットの名前と音、文字の書き方の要点をまとめた Unit が設定されており、繰り返し扱うことにより、定着を図ることができる。 開隆堂では、既習表現や語彙を使って、ペアで行う Small Talk のコーナーが設けられており、巻末資料と組み合わせて使うことで、効率よく小学校語彙の定着を図ることができる。 三省堂では、小学校で体験した場面等での会話や発表を聞いたり、見たりして、小学校で学んだ身近なことについての会話と語句・表現を振り返る場が設定されている。 教育出版では、教科書のはじめに、小学校で慣れ親しんだ表現を楽しく、効果的に復習することができる教材が用意されている。 光村図書では、1年生の教科書の巻頭の小中接続期教材の活動は全て小学校での学習事項でできる内容となっており、「聞く」から始めて「話す」「書く」活動へつながるようになっている。 啓林館では、Let's Start という教材で小学校で学習した「話す」「聞く」「読む」「書く」の振り返りができる構成になっている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が主体的に学習できるように、各者どのような工夫が見られるか。 |
| 専門員 代表 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京書籍では、英語学習のポイント等を系統的に取り上げ、主体的な学習態度を育成する工夫や「単元を貫く問い」を提示して、生徒の考えや思いを引き出す工夫が図られている。 開隆堂では、プログラムごとに話題がつながっており、マンガの続きを考えるなど、生徒が楽しんで知識 |

を得ながら思考力を鍛えられる仕掛けがある。

三省堂では、動画や写真、Q&Aを使ってレッスンの題材や場면을導入し、題材に関する生徒の背景知識を活性化し、学習への動機付けができるようになっている。

教育出版では、生徒の発話を引き出す活動用カードや自主学習で活用できるマスキングシート、また勉強の仕方についてのアドバイスなど、多様な教材が用意されている。

光村図書では、生徒が共感しやすい内容のストーリーが掲載されており、英語に抵抗がある生徒でも、くり返し聞いたり読んだりすることができるよう工夫されている。

啓林館では、日本や世界で今起きていること、あるいは実在の人物や実際の出来事を題材とすることで、生徒たちの興味・関心を引き出そうとする工夫が見られる。

委員

- ・新学習指導要領では、「即興でやり取りする力」や「即興で発表する力」を身に付けさせることが求められているが、各者どのような工夫が見られるか。

専門員
代表

- ・東京書籍では、小学校で学習した簡単なやり取りから、即興的に対話を続ける練習、簡単なメモを見ての発表、場面に合わせた即興的な対話、ディベートへと、段階的・系統的に力をつけられるようになっている。開隆堂では、身近なことについて既習表現や語彙を使ってペアで行う Small Talk の Try、与えられた場面やトピックの中で場面・状況・目的に応じて話す Interact、メモをもとに即興で発表する Our Project など、スモールステップを踏んだ3つの活動が設定されている。

三省堂では、Get Talk や Take Action! Talk といった教材を通して、オーセンティックなスキットを使って、即興でのペアワークに取り組むという流れが工夫されている。

教育出版では、「Activities Plus」のQ&A活動を「帯活動」として日々の授業に継続的に取り入れることにより、英語でコミュニケーションをとる力が向上する

よう工夫されている。

光村図書では、リテリングと合わせて、Let's Talk という自分自身や身近な話題について即興で 1 分間 やり取りを続ける力をつける教材が設定されている。啓林館では、Let's Talk という話すことの技能に特化した教材が設けられており、ショッピングなどの身近な場面での会話を練習するような場が設定されている。

議長 ・他に質問はよろしいか。
(質問なし)

議長 ・それでは英語の報告は以上とする。
続いて、道徳の調査研究結果の報告をお願いする。

専門員代表 ・道徳の調査研究結果を報告する。
(報告書に基づいて7者について報告する。)

議長 ・ただいまの報告について質問はあるか。

委員 ・人間としてよりよく生きようとするための基盤となる道徳性を育成するために工夫されている点は、どのようなところか。

専門員代表 ・東京書籍では、新聞教材や漫画教材など、多様な教材を多面的・多角的に考え議論し、多くの意見に触れることができる。
教育出版では、心を揺さぶる教材や読むことだけに頼らない絵本教材を使い、全員が話し合いに参加し、考えることができる。
光村図書では、様々な形態の教材から体験的な学習、問題解決的な学習を取り入れ、さまざまな立場に立って考えることができる。
学研教育みらいでは、「命の教育」を重点テーマにして、視点や内容項目の異なる複数教材を関連させ、広い視野で考えることができる。
日本教科書では、生徒の思考を揺さぶる問いや議論が起こるようなワークシートを活用し、自分事として考えることができる。

廣濟堂あかつき、日本文教出版では別冊の道徳ノートを活用し、自身の思いや考え、自分の表現方法でまとめることで、変容する様子が確認できる。

委員

- ・ 情報モラルや喫緊の課題である「いじめ問題」に関する教材や題材について、取り上げる上でどのような工夫がみられるか。

専門員
代表

- ・ 東京書籍では、「いじめ問題」について、3つの教材を通して学習する流れになっている。情報モラルは、「情報モラルと友情」という観点で、3年間を通して学習するようになっている。
教育出版でも、「いじめ問題」について中学校3年間を通してスパイラルで学習する流れになっている。「情報モラル」は、教材やコラムを通じて学習するようになっている。
光村図書でも、3年間を通して「いじめを許さない心」について学習する流れになっている。「情報モラル」は、実感をもって考え、また情報機器を活用するよさについても学習するようになっている。
日本文教出版では、「いじめ」が増加する傾向にある長期休業後等、生徒の実態に合った時期に学習する流れになっている。「情報モラル」は、実感をもちながら教材やコラムを通じて学習するようになっている。
学研教育みらいでは、「いじめ問題」について様々な内容項目から多面的・多角的に考える構成になっている。「情報モラル」は、各学年で2教材ずつ設定されており、系統的に学習できるようになっている。
廣濟堂あかつきでは、各学年の「いじめ」防止に関わる教材や資料、巻末ページを通して学習する流れになっている。「情報モラル」は、生徒と年代の近い主人公や筆者の作品が多く掲載されている。
日本教科書では、「いじめ問題」について、いじめを防止するための教材が複数配置されている。「情報モラル」は、ネット社会について、自分事として話し合うことができるようになっている。

委員

- ・ インクルーシブ教育システムの視点に基づいた学習上の配慮について各者どのような工夫がみられるか。

- | | |
|-----------|--|
| 専門員 代表 | <ul style="list-style-type: none">東京書籍では、UDフォントを使用したり、文字を大きくしたりすることで視認性を高め、難解な語句での表現を避け、読みの負担が軽減されている。教育出版では、カラーユニバーサルデザインや、色覚等の特性をふまえた配色や、文章の改行位置を工夫し、文章構成をつかみやすくしている。光村図書では、カラーユニバーサルデザインや、UDフォントを使用し、視認性が高い常用漢字全てに、振り仮名を付けている。日本文教出版では、UDフォントの使用や文字の大きさ、罫線や囲み、色の使い方などが工夫され、中学校で学ぶ漢字や固有名詞など、全ての漢字に振り仮名を付けている。学研教育みらいでは、UDフォントを使用し、中学校以上配当の漢字や、固有名詞に振り仮名を付け、文字の大きさや字間に配慮されている。廣済堂あかつきでは、マークの形状やデザインの違いなど、必要な情報が読み取れるように工夫され、未習漢字や固有名詞に振り仮名を付けている。日本教科書では、難解な語句や用語には、読み取りに必要な補足説明があり、コラムや参考資料の文は横書きで、読みやすくなっている。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">他に質問はよろしいか。 (質問なし) |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">それでは道德の報告は以上とする。 以上で専門員による研究結果の報告及び質疑を終了する。 ここで休憩とする。 なお、午後は研究結果を踏まえた教科書の選定協議を行う。委員は、既に十分な教科書研究をされていることと思うが、先ほどの専門員研究報告も踏まえ、再度教科書を確認の上、協議に臨んでいただきたい。 |

- | | |
|-----|--|
| 司 会 | <ul style="list-style-type: none">・ それでは、協議を再開する。 これより教科書の選定に係る協議に移る。 |
| 議 長 | <ul style="list-style-type: none">・ これまで、委員の皆様もそれぞれ教科書研究を進められてきたことと思うが、それに加え、保護者や学校、専門員の研究報告など諸々の調査結果を踏まえ、本採択地区の教科書を選定する。 協議の流れとしては、はじめに一人ずつ、どの教科書がよいのか意見を述べ、そこで挙げられた教科書を中心にさらに協議を深め、選定していく形をとりたいと思うがいかがか。 |
| 委 員 | <ul style="list-style-type: none">・ 異議なし。 |
| 議 長 | <ul style="list-style-type: none">・ はじめに国語の選定協議を行う。御意見を願います。 |
| 委 員 | <ul style="list-style-type: none">・ 光村図書の教科書は、教材ごとに「目標」と学習過程がわかりやすく示されていて、見通しをもった学習がしやすい。また、三省堂は「読み方を学ぼう」で読み方について3年間で22の方略を学べる点が良い。 |
| 議 長 | <ul style="list-style-type: none">・ 確かに見通しをもつことは重要である。その点では、教育出版は各教材に「学びナビ」として「何を学ぶか」が示されているのがわかりやすくよい。 |
| 委 員 | <ul style="list-style-type: none">・ 小・中の系統性については、どの教科書も意識しているが、光村図書の教科書は小学校と共通した題材の多い点が良い。 |
| 委 員 | <ul style="list-style-type: none">・ 光村図書の教科書では、1年生の巻頭に特設ページを設け、小学校で学習した内容を確認できるようになっている。3年生では論説や古典など高校への橋渡しを円滑に行うための教材が用意されている。 |
| 委 員 | <ul style="list-style-type: none">・ 小・中の接続という点では三省堂の教科書は、1年生の最初の単元に「朝のリレー」という詩の学習を配置し、「グループディスカッション」と、学級開きに適した内容となっていてよい。 |

- | | |
|----|---|
| 委員 | ・三省堂の教科書は、その他にも「グループディスカッション」について「話し合いのこつ」を各学年に設け、話し合いについて系統的に学び、質が高められるようになっている。 |
| 議長 | ・意見をまとめると、光村図書と三省堂を推す御意見が多く上げられているが、この2者に絞って協議をしてよろしいか。 |
| 委員 | ・異議なし。 |
| 委員 | ・光村図書の教科書は「思考のレッスン」や「情報整理のレッスン」で、学習指導要領で新設された「情報の扱い方に関する事項」について学びやすい。思考ツールや情報の可視化の方法など、これから社会で必要となる力を身につけることは大切である。 |
| 委員 | ・三省堂の教科書では、「思考の方法」として、考えを深め、確かなものにするための方法を9種類取り上げている。考えを深めるための知識・技能が学べるのはよい。 |
| 議長 | ・光村図書は「語彙指導」に関して、語彙の量と質を高めるための教材が各学年にあり、表現するときを活用する語彙表も設けられている。 |
| 委員 | ・語彙の充実はとても大切と考える。光村図書は古典教材も充実していて、「古典の名句・名言集」について学べるのもよい。資料も豊富である。 |
| 議長 | ・光村図書の教科書は、「目標」や「学習過程」「振り返り」を示しつつ、教員が工夫する余地を残して使いやすい。 |
| 委員 | ・教員が工夫できるとよりよい授業を作れる可能性も広がる。 |
| 議長 | ・意見をまとめると、光村図書の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。 |

- 委員 ・ 異議なし。
- 議長 ・ それでは、国語は光村図書を選定する。
- 議長 ・ 次に、書写の選定協議を行う。意見を願います。
- 委員 ・ どの教科書もQRコードを活用し、運筆動画が見られるようになっている。東京書籍の教科書では、ナレーション・テロップで解説がついている。
- 委員 ・ 実際の授業での活用を考えると光村図書の教科書は教材文字ごとにQRコードで運筆動画を視聴できるようになっている。教材文字と一緒に確認しながら書けるのは使いやすい。
- 議長 ・ 今後、PC端末が一人一台時代になると、技能教科は特にデジタル資料が手元で見えるというのはよい。
- 委員 ・ 東京書籍では「書写のかぎ」で、単元ごとの重要なポイントがまとまっているのがよい。光村図書は「何を、どう学ぶか」がわかるように学習の進め方が明確に示されていて、生徒が主体的に学べるのでよい。
- 委員 ・ 光村図書の教科書では、身近になる文字や漢字や仮名の成り立ちなど「文字文化」について学べるようになっている。
- 議長 ・ 東京書籍と光村図書の教科書について意見があがっているが、三省堂と教育出版についてはいかがか。
- 委員 ・ 三省堂の教科書では、学習したことを日常生活にある実際の場面で活用できるようにするための書き込みページが豊富にあるのが特徴的である。
- 委員 ・ 教育出版の教科書では対話的な学びを目指した話し合いのポイントについて示されているのが特徴的である。

- | | |
|----|--|
| 委員 | ・ その点では光村図書の教科書でも「書写ブック」で多くの硬筆練習に取り組めるようになっている。 |
| 議長 | ・ 確かに、硬筆練習帳として別冊があるのはよい。 |
| 委員 | ・ 国語との関連を考えると同じ教科書である光村図書がよいと思う。例えば、国語の古典で学んだ名文を書写で学習することは、生徒の関心を高めることにもつながる。 |
| 議長 | ・ 意見をまとめると、光村図書の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。 |
| 委員 | ・ 異議なし。 |
| 議長 | ・ では、書写は光村図書を選定する。 |
| 議長 | ・ 次に、社会（地理的分野）の選定協議を行う。意見をお願いする。 |
| 委員 | ・ 東京書籍は世界の諸地域等の学習においてSDGsを取り上げ、地球規模の課題として捉えている。 |
| 委員 | ・ 東京書籍は、持続可能な社会の実現のために解決すべき課題や事象を3分野それぞれの視点から考察する教材やコラムが設けられている。3分野を関連させた社会科の学習が展開できるのはよい。 |
| 議長 | ・ 生徒が3分野を関連させた学習を進めていくことは「社会的な見方・考え方」を鍛えていくためにも必要である。 |
| 委員 | ・ 教育出版や帝国書院もSDGsを取り上げている。教育出版では、世界地誌の導入において地球的課題を捉えることができるよう工夫されている。 |
| 委員 | ・ 教育出版は地図やグラフの扱い方を学習する「地理の技」コーナーがよい。地理の学習で身に付けさせたい技能を養えるように配慮されている。 |

- | | |
|----|--|
| 委員 | ・ 帝国書院では、環境・防災・共生を主題とする題材を積極的に扱い、どのように社会に参画していくか考えることができるような構成になっている。 |
| 議長 | ・ 日本文教出版についてはいかがか。 |
| 委員 | ・ 日本文教出版は、各見開きページに「地理的な見方・考え方」が示されており、学習課題の解決に向けた手がかりとなる「社会的な見方・考え方」を働かせるための工夫がなされている。 |
| 委員 | ・ 日本文教出版は写真を見て考えるクイズや現地の人の言葉を紹介する「声コーナー」で生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。 |
| 議長 | ・ その他には、いかがか。 |
| 委員 | ・ 東京書籍は単元の探究課題を解決するために、導入部において単元で活用する「見方・考え方」を示し、適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設けている。 |
| 議長 | ・ 見方・考え方という点はこれまでも多く意見が出ているが、他の視点ではどうか。 |
| 委員 | ・ 教育出版や帝国書院は、埼玉県地理の扱いが他者に比べると多い点が良い。自分たちの住む地域を知る、そこから世界を広げていくという視点で学習ができる。 |
| 委員 | ・ 帝国書院は埼玉県もそうだが、日本の地域の取扱いが多くある。 |
| 委員 | ・ 「防災・安全」については、地理の学習を通して防災や安全への意識を養うことが大切であると考え。その点、東京書籍は、特設コーナーを設けて、東日本大震災を例に挙げながら取り扱っているがわかりやすい。 |
| 議長 | ・ 様々な自然災害とその地理的要因や背景、復旧・復興のための諸機関の連携や人々の協力について触れている |

- 点は、学びを深められそうである。
- 委員
- ・ 東京書籍は他にもデジタルコンテンツがひとまとめになっており、探究的に学ぶ際に生徒が関心に応じて扱えそうである。家庭でも使いやすいように配慮されている。
- 委員
- ・ デジタルコンテンツについては、各者が3分野の連携を考えて作成しているが、東京書籍は、歴史・公民の関連ページに直接リンクしたQRコードが付いており、インターネットを使って歴史や公民の紙面を直接見ることができるようになっているのがよい。
- 委員
- ・ 関連付け、という視点で東京書籍は「分野関連マーク」で他分野との関連が特に強い内容を示したり、他教科との関連が強いところには「教科関連マーク」を付けたりするなど、カリキュラム・マネジメントの視点からも学びやすい教科書になっている。
- 議長
- ・ 意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。
- 委員
- ・ 異議なし。
- 議長
- ・ では、社会（地理的分野）は東京書籍を選定する。
- 議長
- ・ 次に、社会（歴史的分野）の選定協議を行う。意見をお願いする。
- 委員
- ・ 東京書籍は単元を貫く問いである「探究課題」、節の課題である「探究のステップ」、1単位時間のめあての「学習課題」の3段階の問いで構造化されており、段階的に課題解決していくことができるのがよい。
- 委員
- ・ 帝国書院も章・節などのページの冒頭に問いや学習課題を設定し、生徒が見通しをもって課題解決ができるよう工夫されている。
- 議長
- ・ 今回の学習指導要領の改訂では、歴史的分野の学習内

容と学習過程の構造化が大切にされている。内容のまとまりを通して身に付けたい資質・能力が重要になっている。他にはいかがか。

委員 ・ 帝国書院では、日本の伝統と文化に関する教養と愛着を育めるよう、各地の様々な伝統行事や祭りを取り上げ、日本の文化の多様性に気付かせている。

委員 ・ 東京書籍は、伝統と文化に対する理解を深めるために、政治史や経済史だけでなく、文化史についても多く取り上げ、「もっと歴史」のページでは現代に受け継がれている文化等を取り扱い、伝統や文化の継承者としての資質・能力を育むことができるよう工夫されている。

議長 ・ 東京書籍と帝国書院についての意見が出ているが、他はいかがか。

委員 ・ 山川出版社は、高校で扱う歴史的史料を多く取り上げ、中学生にも理解できるように口語訳して示されている。高校の教科書へつながる教科書として高校の教科書と全体の流れを合わせてあり、中高のスムーズな接続に期待できそうである。

委員 ・ 育鵬社では、各章に設けられた「歴史のターニングポイント」において、各時代の重要な出来事について様々な資料を基に詳しく掘り下げている。

議長 ・ 他にも各時代には同時代の外国の動きを紹介した見開きページが設けられており、伝統や文化に対して複眼的な見方ができるよう配慮されている。

委員 ・ 日本文教出版では、地理と同じように「社会的な見方・考え方」を働かせるために1時間ごとの思考の流れに沿った学習ができるようになっている。

委員 ・ 教育出版は教科書とウェブサイトをリンクさせた「まなびリンク」を設けており、様々な情報を得ることができるように工夫されている。

- | | |
|-----|---|
| 議 長 | ・ 東京書籍と帝国書院を推す意見が多くあげられているが、この2者に絞った協議としてよろしいか。 |
| 委 員 | ・ 異議なし。 |
| 議 長 | ・ では、東京書籍と帝国書院について、さらに意見をお願いします。 |
| 委 員 | ・ 東京書籍は章の最後に設けられた「まとめの活動」において多様な思考ツールを用いた学習活動が設定されている。これは生徒が思考を整理し、自らの考えを表現していく際に非常に有効である。 |
| 委 員 | ・ 東京書籍は、社会科3分野において同一の写真・グラフ・地図を掲載し、地理と同様、他分野関連のマークも示している。一つの事象を各分野の視点から考察したり説明したりする力を育てることができる。 |
| 議 長 | ・ 帝国書院においても、「タイムトラベル」において前の時代を比べる活動が設定され、歴史的な見方・考え方を働かせながら時代の特色を考察し、説明する力を高めるような工夫がなされている。 |
| 委 員 | ・ 東京書籍は教科書を貫く五つのテーマとして「環境・エネルギー」、「防災・安全」、「人権・平和」、「伝統・文化」、「情報・技術」で構成されているため、他分野との関連を図りながら現代的な諸課題を意識して学習を進めていくことができるのも大きな特色である。 |
| 議 長 | ・ 意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。 |
| 委 員 | ・ 異議なし。 |
| 議 長 | ・ では、社会（歴史的分野）は東京書籍を選定する。 |
| 議 長 | ・ 次に、社会（公民的分野）の選定協議を行う。意見をお願いします。 |

- | | |
|----|--|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 東京書籍の教科書は、選挙権年齢の引き下げを受けて、実際の選挙の流れを概観できるページを新設している。3年後に主権者となる生徒にとって大切である。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 東京書籍は、他にも成人年齢の満18歳以上への引き下げに対応して契約の注意点を理解できるようにするページを設けているなど、消費者として主体的に社会に参画する態度を養うことも大切にしている。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・ 社会参画への意義については、教育出版でも、人権や選挙、社会保障の単元が多く、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う視点が強調されている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 帝国書院では、人権や環境などの現代社会の課題を積極的に扱い、SDGsの意義への理解を涵養する配慮がされており、社会参画への意義を捉えられるように工夫されている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 人権という点では東京書籍はインクルージョンについて考える活動を新設したり、共生社会を目指す具体的な事例を掲載したりして、多文化共生の社会の実現に向けて一人一人ができることについて考えることができるよう配慮されている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 日本文教出版では、コラムや特設コーナーを通して、法教育、主権者教育、キャリア教育など生徒が自らの人生を切り開いていくために必要な教材の充実が図られている。この点は今回の学習指導要領が大切にしている点でもある。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・ 現代社会において求められる内容でもあるが、他には、いかがか。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 自由社は、「アクティブに深めよう」という特設ページにおいて、章で学習したことを基に意見を見やすくまとめたり、関連性が分かるようにまとめたりする技能を身に付けながら、社会の仕組みについて考察することができるよう工夫されている。 |

- | | |
|----|--|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 東京書籍においても資料の読み取り方や収集方法等を紹介するコーナーが設けられたり、それを活用するコーナーが設けられたりするなど、技能を適切に身に付けられるような工夫がなされている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 育鵬社では、対立と合意、効率と公正などの現代社会の見方・考え方の基礎である視点を取り上げ、具体的な事例を通して学ぶことができるよう配慮されている。他人事を自分事としてとらえる態度の育成に重きを置いて、興味・関心を引く資料やコラムが豊富に掲載されているのも大きな特色である。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 対立と合意、効率と公正については、東京書籍においても具体的な事例を通して学ぶことができるよう配慮されている。また、学習したことを基に他の例もあげながら、効率や公正の観点から適切といえるかどうかについて考えることができるようになっている。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・ 他には帝国書院においても、効率と公正の見方・考え方を生かしていくつかの例を示しながら考えることができるような構成になっている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 東京書籍では、生徒が現代社会の見方・考え方を働かせるため、第1章や各単元の学習の冒頭で見方・考え方を明示し、それを念頭におきながら学習を進めている。学習の過程にも適宜見方・考え方を働かせるコーナーが設けられ、学習を深めていく工夫されている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 東京書籍は、単元のまとまりにおいて探究課題の設定から解決に至るまでの流れが「問い」を軸に構造化されているので、単元の過程で習得した知識を関連付けたり、組み合わせたりしながら知識の質を高め、単元のまとまりを意識した深い学びが可能になっている。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・ 意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 異議なし。 |

- | | |
|----|--|
| 議長 | ・ それでは社会（公民的分野）は東京書籍を選定する。 |
| 議長 | ・ 次に、社会（地図）の選定協議を行う。意見をお願いします。 |
| 委員 | ・ 帝国書院の地図が大判化しており、生徒が交通などによる地域間の結びつきを捉えやすくなっている。 |
| 委員 | ・ 帝国書院は、資料図の縮尺もそろえられており、分布の特徴などを比較しやすいようになっているので、教師にとっても生徒が資料図の比較をする際に提示しやすい。 |
| 委員 | ・ 帝国書院は、修学旅行や校外学習での訪問が多い都市を中心に詳細な地図を載せており、事前学習や事後学習など、歴史や特活での活用も期待できる。 |
| 議長 | ・ 普段から地図に親しむことができるようにすることは地図を活用する上で大切である。帝国書院は要所に「地図活用」のコーナーが設けられており、地図の読み取りなどの地理的スキルも身につくよう工夫されている。 |
| 議長 | ・ 帝国書院についてよいという意見が多く出ているが、東京書籍についていかがか。 |
| 委員 | ・ 東京書籍の地図は、環境問題や人口問題、紛争などの現代的な諸課題に対応した特設ページを設けているなど、歴史や公民での活用も意識した構成になっている。 |
| 委員 | ・ デジタルコンテンツで見ると、東京書籍、帝国書院ともに充実しており、生徒の主体的な学びを助ける工夫がなされている。 |
| 委員 | ・ 帝国書院は、五街道を表す鳥瞰図を示したり、統計資料に少子高齢化を表す資料を取り上げたりするなど、歴史や公民での活用にも配慮している。 |
| 議長 | ・ 意見をまとめると、帝国書院の教科書がよろしいかと |

思うがいかがか。

- | | |
|----|--|
| 委員 | ・ 異議なし。 |
| 議長 | ・ それでは、社会（地図）は帝国書院を選定する。 |
| 議長 | ・ 次に、数学の選定協議を行う。意見を願います。 |
| 委員 | ・ 新学習指導要領では、数学的に考える資質・能力の育成に向けた問題発見や解決の過程に、数学的活動の一層の充実が求められている。どの教科書にも子供たちの主体的な学習活動を促すための場面が設けられているが、特に東京書籍の学習課題の提示の仕方は、活動が段階的に示されている。 |
| 議長 | ・ 東京書籍の導入部分は、課題が明確になっており、学習活動に入りやすい。 また、大日本図書や学校図書、日本文教出版についても、目標やめあてが具体的に示されていてよい。 |
| 委員 | ・ 教育出版や数研出版、日本文教出版の教科書は、章の初めに既習事項の振り返りがあり、新しい学習内容にも抵抗なく入れるようになっている。 |
| 委員 | ・ 東京書籍や学校図書、教育出版、啓林館では、章や節ごとに、まとめや振り返りの場があってよい。 啓林館は章末問題などが充実していると感じた。 |
| 議長 | ・ 数学的活動の充実という観点ではいかがか。 |
| 委員 | ・ 東京書籍や学校図書、大日本図書の教科書では、身近な事柄を数理的に捉えることで、主体的に数学的活動に取り組めるようになっている。数研出版や啓林館、日本文教出版では、登場するキャラクターの対話をきっかけに言語活動を促す場が適切に設定されていてよい。 |
| 議長 | ・ 言語活動に関しては、啓林館や日本文教出版では、説明や話し合いを促す場面があってよい。 |

- | | |
|----|---|
| 委員 | ・ 学校図書や教育出版では、問題の発見から解決の過程が示されていて、話し合い活動からさらに新たな問題へと発展するような工夫がされている。 |
| 委員 | ・ 東京書籍や大日本図書、学校図書、教育出版の、実生活などで活用されている数学を扱った教材などもよい。数学の必要性や有用性によく触れている。 |
| 委員 | ・ 東京書籍や啓林館、数研出版の、他教科と数学との関わりを考える題材があるところがよい。教科を越えた新たな疑問や課題を見だし、次の問題解決へ向かうように工夫されている。 |
| 議長 | ・ 全体を通して、東京書籍と学校図書、啓林館を推す意見が多くあげられたが、この3者に絞って協議をしたいと思うが、いかがか。 |
| 委員 | ・ 異議なし。 |
| 議長 | ・ では、東京書籍と学校図書、啓林館について、さらに意見をお願いします。 |
| 議長 | ・ 東京書籍の、「深い学び」のページが、思考力や判断力、表現力などの育成に効果的で、対話から考えを深める授業展開ができるように配慮されている。考え方などが、ページをめくった先にあるレイアウトも、工夫されている。 |
| 委員 | ・ 表現力の育成という点では、学校図書では、巻末の「表現する力を身につけよう」のページで、発表やレポート作成の例が示されていてよい。また、啓林館でも、「まとめよう」や、「学びをいかそう」など、学んだことを表現する場がある。 |
| 委員 | ・ 東京書籍の巻末の「大切にしたい見方・考え方」が、深い学びを振り返り、問題解決の進め方なども示されている。「数学の自由研究」でも、身のまわりの題材を多く扱っている。 |

- 議 長 ・ 教科書の見やすさや使いやすさという観点で、意見は
いかがか。
- 委 員 ・ 3者ともに、印象的な字体や色遣い、記号などが多く見
られるが、東京書籍、啓林館の教科書では、写真やイラ
ストが効果的に用いられており、興味・関心をもって学
習に臨めるように工夫されている。
- 委 員 ・ 東京書籍や学校図書 of 1年生の教科書の冒頭に、小学
校の学習内容についての記載があるのが、小中の接続
を意識していてよい。特に、東京書籍では、1つの章立
てをして振り返る場が設けられている。
- 議 長 ・ 3者を見ていくと、全体的に東京書籍の教科書は、学習
の流れが丁寧を示されていて、学習活動がスムーズに
進められるような印象がある。
- 委 員 ・ 同感である。
また、東京書籍は、子供たちに基礎・基本を身に付けさ
せるとともに、自主的な学び、対話的で深い学びを促す
場面がよく用意されている。
- 委 員 ・ 東京書籍の教科書は、子供たち個々の実態や学力に幅
広く対応しており、かつ教員の授業づくりにも有効に
利用できる。
- 議 長 ・ 皆さんの意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろ
しいかと思うが、いかがか。
- 委 員 ・ 異議なし。
- 議 長 ・ では、数学は東京書籍を選定する。
- 議 長 ・ 次に、理科の選定協議を行う。意見をお願いします。
- 委 員 ・ 大日本図書の教科書は、單元ごとに既習の振り返りや
今後の学習の見通しが持てる構成になっている。
東京書籍、学校図書、教育出版、啓林館の教科書も、1
章に入る前に既習の振り返りがあり、系統性やレディ

- ネスを確認できる。
- 議長 ・ 確かに大日本図書の教科書は、内容の振り返りや学習の見通しに、多い所では8ページ使用しており、写真やイラストも充実している。教育出版の導入は、見開き2ページのダイナミックな写真に各章の既習事項がまとめてあるのが、特に系統性や振り返りを意識している。
- 委員 ・ 東京書籍の教科書は、「ビフォー アンド アフター」においてレディネスと振り返りができ、さらに「Dマークデジタルコンテンツ」でつまずきを確認できるという点がよい。
- 委員 ・ 単元や章末、つまずき箇所での振り返りという意味では、学校図書の「キャンドウリスト」や豊富なQRコードがよい。また、単元末の基礎基本の定着の確認という意味では、大日本図書が「まとめ」「単元末問題」に加え、「読解力問題」があり、充実している。
- 委員 ・ 確かに大日本図書の単元末問題は、写真やイラストがカラーで載っており、視覚的にも内容を確認しやすいつくりになっている。その他の単元末の問題では、教育出版の「要点と重要用語の整理」が、苦手意識をもつ生徒にはまとまっていて分かりやすい。
- 委員 ・ 出題の仕方としては、東京書籍では「確かめと応用」の『活用編』が、啓林館では「力だめし」が、思考力を働かせて答える工夫がされている。
- 議長 ・ 見通しや振り返りの点で、各者工夫が見られるが、「学びに向かう力」の育成という点では、各者どのような工夫が見られるか。
- 委員 ・ 啓林館の「探Qシート」は、写真付きの書き込みシートになっており、取組が明確なので、生徒は進んで予想や結果を記入できる。
また、裏面には学んだことを自分の言葉で表現できるような工夫もされている。

- | | |
|----|---|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 教育出版の「学習前の私」「学習後の私」が生徒に成長やできるようになったことを振り返らせる働きがあり、次の学びに向かわせる役割を果たしている。また、長期休業中に生徒が行う自由研究例がイラスト入りで詳しく載っており、理科が苦手な生徒の学びを後押ししている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 大日本図書が、巻頭巻末や学習途中の「プロフェッショナル」で、理科に関する職業を紹介したり、動物園や水族館、博物館を紹介したりして、生徒に理科を身近なものに感じさせる工夫がある。生徒は「学びに向かう力」を授業外のものから身に付ける場合もあり、教科書がその機会となるとよい。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・ 意見をまとめると、大日本図書と教育出版を推す意見が多くあげられたが、この2者に絞って協議をしたいかがいかか。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 異議なし。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・ では、大日本図書と教育出版について、さらに意見をお願いします。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 教育出版は、「疑問から探究してみよう」をもとに生徒が考え、話し合う機会を設けており、「科学的に探究する力」を重点的に育成できるよう配慮されている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 大日本図書も、生徒一人一人が考えを深められるよう、どの学年でも「話し合おう」を設けたり、キャラクターによる会話場面を多く掲載したりして、対話的活動を重視している。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 大日本図書は、自分と考えが違う人の意見を大切にすることで、自身の考えを深めようとする意図が、巻頭から伺える。また、考えを深める上で「学年の重点」を設け、探究活動を充実させることで、学年に応じた「科学的に探究する力」を育成している。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・ 2者ともに生徒の「科学的に探究する力」の育成に向け |

て、工夫が見られるが、実験や観察の際の注意事項についてはいかがか。

委員 ・ 2者ともに巻末で、具体的場面を用いて丁寧に説明している。教育出版は、安全のための注意事項をマークにしたり、朱書きで示したりしているところが工夫されている。

委員 ・ 大日本図書は、注意箇所には大きな赤い×印が付いたり、濃い黄色の塗りつぶしになっていたりして、教科書を開いた瞬間に把握できる。

委員 ・ 大日本図書は、注意に加えて、青書きで「コツ」も示しているところが、教える側の手助けとなっている。

議長 ・ 意見をまとめると、大日本図書の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。

委員 ・ 異議なし。

議長 ・ では、理科は大日本図書を選定する。

議長 ・ 次に、音楽（一般）の選定協議を行います。意見を願います。

委員 ・ 教育芸術社は、資質・能力の3つの柱と学習する内容とのつながりをわかりやすく示している「学びの地図」や音楽と社会とのつながりを明示している点が良い。

委員 ・ 教育出版は「学びのユニット」により、学びのねらいや学びを深めるための曲や活動が冒頭にわかりやすく示されていて、主体的な学びという視点でも学びの連続性を保てるようになっている。

委員 ・ 見やすさという点では教育芸術社の教科書は9割以上でユニバーサルデザインフォントが使用されているのに加えて、文字を背景が無地のところに配置して見やすい。

- | | |
|----|--|
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・見え方の面では、教育出版は写真やイラストが豊富で、教育芸術社は絵が多く挿入されており、どちらも生徒にとっては教材への親しみを感じられるよう工夫されている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・教育出版は鑑賞教材の特徴を理解するための考えるポイントが掲載されている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・地域の音楽文化については両者ともに民謡や芸能を扱っているが、教育芸術社はそれらの伝統を生徒自身が受け継いでいく視点で示されていることも大切な視点である。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・鑑賞教材という点では、教育芸術社が例示を多く掲載しており、授業者が学校や生徒の実態に即して選定できるよさがある。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・先ほどの報告にもあったが、教育芸術社はキャラクターを使ったり、演奏者からのアドバイスを入れたりするなど対話的な学びを大切にしている。歌唱や鑑賞だけでなく、生徒に音楽を考えさせる工夫がされている。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・意見をまとめると、教育芸術社の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・特に異議がなければ、教育芸術社を選定するというところでいかがか。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・異議なし。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・それでは、音楽（一般）は教育芸術社を選定する。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・次に、音楽（器楽合奏）の選定協議を行う。意見をお願いする。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">・教育芸術社の教科書は音楽表現の創意工夫を考慮することができるよう、具体的な手順が示されている。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none">・教育芸術社は教材数が多く掲載されており、先ほどの |

- 音楽一般の鑑賞教材同様に、授業者の選択肢が広がる点が良い。
- 委員 ・ 教育芸術社は、生徒が段階的に技能を高められるようにしており、例えば、リコーダーの楽曲では、練習曲と平易な楽曲をレッスン1、レッスン2という配置がされている。
- 議長 ・ 教育芸術社についての意見が多いが、教育出版についてはいかがか。
- 委員 ・ 教育出版は和楽器の資料では、同じページに五線譜と縦譜が掲載されているので、関連させて見ることができる点でよい。
- 委員 ・ 教育出版は深い学びにつなげるよう、口唱歌を取り入れた学習を取り入れているというよさがある。
- 議長 ・ 他にいかがか。
- 委員 ・ 教育芸術社では、各楽器の基礎から応用まで系統的に掲載されていることから、歌唱や鑑賞など他の学習活動との関連にも配慮している。
- 委員 ・ 教育芸術社では多くの曲で具体的な学習目標や学習活動が明示されていることから、音楽を苦手としている生徒にとっても取り組みやすい内容になっている。
- 議長 ・ 意見をまとめると、教育芸術社の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。
- 委員 ・ 異議なし。
- 議長 ・ それでは、音楽（器楽合奏）は教育芸術社を選定する。
- 議長 ・ 次に、美術の選定協議を行う。意見を願います。
- 委員 ・ 日本文教出版は、生徒が美術の力で課題を解決する題材や、地域を知り、共同制作で社会奉仕をする題材やア

- ートイベント等、社会や様々なプロジェクトにおける美術の役割・力についても考えを深めていくことができる構成になっている。
- 議長 ・ 日本文教出版は、社会との繋がりを感じることができるよう身近な対象を扱う資料や題材などを多く取り上げている。
- 委員 ・ 日本文教出版は、他にも映像メディアを活用した題材もあり、日常的に撮影ができるようになった現在、多様な展開を期待することができる。
- 委員 ・ 先程の報告にもあったが、日本文教出版はWEBコンテンツも充実しているのに加え、新たな鑑賞の視点をもたせたり、生徒自身が表現に生かしたりできるよう工夫されていて、表現と鑑賞を一体化させた学びを促しているところがよい。
- 議長 ・ 多様な鑑賞の仕方が提案されている点や誌面に表しにくい資料をWEBコンテンツで充実させている点がよい。光村図書の音声ガイドなども面白い資料である。
- 委員 ・ 開隆堂は、美術館とのリンクやアーティストファイルなどが充実していて、主体的な学びを促す工夫がされている。
- 議長 ・ 日本文教出版を推す意見が多く挙がっているが、開隆堂や光村図書についての意見はいかがか。
- 委員 ・ 先程の専門員の報告にもあったが、開隆堂は、魅力的な作家作品と生徒作品を多く掲載したり、原寸大の図版や部分を拡大した図版を掲載したりするなど鑑賞の資料が充実している。
- 委員 ・ 光村図書は、主題を生み出す過程を複数掲載するなど、生徒自身が学びに向かう姿がイメージしやすい教科書となっている。
- 議長 ・ 鑑賞から題材を提案、発想・構想の過程、生徒作品の鑑

賞と学びの過程がわかりやすくなっている。

委員 ・ その点については日本文教出版もよい。美術への関心が高まるような作家作品と生徒作品をバランスよく配置し、表現活動の導入が鑑賞活動になっていて、表現と鑑賞を相互に関連させながら資質・能力を育成しているように工夫されている。

議長 ・ 意見をまとめると、日本文教出版の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。

委員 ・ 異議なし。

議長 ・ それでは、美術は日本文教出版を選定する。

議長 ・ 次に、保健体育の選定協議を行う。意見を願います。

委員 ・ どの教科書もスモールステップの学習過程や、ブレインストーミングなどの学習方法が示され、デジタルコンテンツも豊富なので、授業を展開しやすい作りとなっている。

委員 ・ 東京書籍、大日本図書、学研教育みらいは、教科書の使い方が「1時間の学習の主な流れ」として示されているところがよい。

議長 ・ 大修館書店は、課題学習の行い方として、授業で学んだことを生活に生かす例が具体的に示されている。

委員 ・ 思考を深めるために、東京書籍では「活用する」、大日本図書では「活用して深めよう」が毎時間設けられている。

委員 ・ 大修館書店は、「特集資料」や「クローズアップ」の資料が充実していて、学びを広げやすい。

委員 ・ 資料の特徴としては、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいが、資料名に帯（おび）が付いていて配色もよく、見やすいところがよい。

- | | |
|-----|--|
| 議 長 | ・ それぞれの教科書に工夫が見られるが、他はいかがか。 |
| 委 員 | ・ 学研教育みらいの教科書は、学習内容に関連する仕事や資格の名称が「JOB(ジョブ)」として、欄外に示されているところがよい。 |
| 委 員 | ・ 学研教育みらいは、学年の章末に、学年のまとめを記入する欄があつてよい。 |
| 委 員 | ・ 去年は台風により学校が避難所になるなど、自然災害の脅威が年々増してきているが、近年の集中豪雨の発生頻度を考えると、5段階の警戒レベルについての資料がある東京書籍、大修館書店、学研教育みらいの教科書がよい。 |
| 委 員 | ・ 大修館書店は、自然災害に関する内容以外に、気象情報の適切な利用について、1時間分の内容を設けている。 |
| 議 長 | ・ 全体をとおしてみると、大修館書店と学研教育みらいを推す意見が多くあげられたが、この2者に絞って協議をしてよろしいか。 |
| 委 員 | ・ 異議なし。 |
| 議 長 | ・ では、大修館書店と学研教育みらいについて、さらに意見をお願いします。 |
| 委 員 | ・ 大修館書店も学研教育みらいも、毎時間のキーワードにチェック欄があり、使いやすい。学研教育みらいは「章のまとめ」でも、この章で学んだキーワードがチェック欄付きで示されている。 |
| 委 員 | ・ 学研教育みらいは毎時間、学習の目標が示されていて、その時間で身に付ける内容が明確になっている。 |
| 委 員 | ・ 新しい学習指導要領では、深い学びの鍵として、「見方・考え方」を働かせることが重要だが、学研教育みらいの教科書は、学習過程の項目欄に、「見方・考え方」を示 |

| | |
|----|--|
| | し、思考力、判断力、表現力等を育成することができるように工夫されている。 |
| 議長 | ・意見をまとめると、学研教育みらいの教科書がよろしいかと思うが、いかがか。 |
| 委員 | ・異議なし。 |
| 議長 | ・では、保健体育は学研教育みらいを選定する。 |
| 議長 | ・次に、技術・家庭（技術分野）の選定協議を行う。意見を願います。 |
| 委員 | ・どの教科書も技術の知識や技能を身に付けられるようビジュアル的に工夫されているが、中でも教育図書の「技術ハンドブック」は別冊になっており、実際に実習を行うときに使い勝手がよいと感じた。 |
| 委員 | ・実際の場面を考えると各者のQRコードもポイントになると思うが、東京書籍のものには他者にはないシミュレーションがある。ただ、使い勝手の面でいうと開隆堂は、教科書のページに直接対応したものとしており、教科書に書かれている内容を詳しく知りたいときにすぐ使えてよい。 |
| 議長 | ・他者のものは、一度単元のページのようなところに接続されている。今、技能面の話が出ているが、その他はいかがか。 |
| 委員 | ・技術の授業ではとかく技能が重視されてきたように思うが、大切なことは身に付けた知識や技能を技術の見方・考え方で捉え直し、これからの生活や社会に生かしていくことである。その点、東京書籍の教科書は「最適化の窓」で常に技術の見方・考え方で学習を見直せるように構成されている。 |
| 委員 | ・開隆堂の教科書では、製品などを工夫と仕組、科学的な原理・法則の3つの視点からまとめている。他にも実習例に「社会とのつながり」を示して、生徒が自身の取り |

組んでいる問題解決が社会とどうつながるかがわかるように工夫されている。

委員 ・ 開隆堂には、学習の最終段階でトレードオフマークというもので改めて技術の最適化について考えさせる工夫もされている。

議長 ・ 開隆堂についてよい、という意見が多く出ているが、他はいかがか。

委員 ・ 東京書籍は全体的に紙面構成のバランスがよい。各節で目標やキーワードが示され、振り返りもできるようになっており、問題解決例も1ページに同じレイアウトにまとめられていて、技術の機能や工夫が比較しやすくなっている。

議長 ・ 教育図書の教科書は今回の改訂で追加されたプログラミングに手厚くページが割かれており、例示されている教材も「なでしこ」という他の2者にはないものを示している。

委員 ・ 先ほど全体の構成について話があったが、開隆堂は全体的にキャラクターを使って生徒の思考を深めるよう工夫されている。

委員 ・ 他にも「調べてみよう」「話し合ってみよう」など学習活動が具体的に示されており、教員にとっても生徒にとっても使いやすくてよい。

議長 ・ 意見をまとめると、開隆堂の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。

委員 ・ 異議なし。

議長 ・ それでは、技術・家庭（技術分野）は開隆堂を選定する。

議長 ・ 次に、技術・家庭（家庭分野）の選定協議を行う。意見を願います。

- | | |
|----|---|
| 委員 | ・先ほどの技術分野と同様にQRコードの使い勝手の面では開隆堂が使いやすいそうである。その他にも、統計資料が多く掲載されており、生徒に考えさせる工夫がされている。 |
| 委員 | ・知識・技能の面では、東京書籍が「いつも確かめよう」というコーナーを設けており、学んだことの振り返りに使いやすい。 |
| 議長 | ・実習のレイアウトに注目したが、調理実習では基本的に各者ともに見開きで調理の流れがわかるように工夫されており、このうち教育図書は縦に流れを示している。 |
| 委員 | ・東京書籍と開隆堂は横で示しており、この2者については、メインの料理だけでなく、付け合わせや組み合わせの手順や献立全体の調理時間も示している。 |
| 委員 | ・調理を含めた実習という点では東京書籍が最も多くの実習や製作の例を示している。 |
| 委員 | ・家庭分野でも身近な生活から課題発見をすることが必要であり、開隆堂はその点で「わたしの興味・関心」でそうした課題を見つけられるように、ビジュアル面も含めて工夫している。また、全体的な紙面構成も統一している点がよい。 |
| 委員 | ・家庭分野で学んだことを地域や社会に視野を広げて活用してほしいという願いがあるが、その点で東京書籍と開隆堂は各編の最後に持続可能な社会づくりに向けた内容を位置付けている点がよい。 |
| 議長 | ・各者で「生活の課題と実践」について、学校などの実態に応じて選択できる課題が巻末に示されている。 |
| 委員 | ・その他に開隆堂は、先ほどの専門員の報告にもあったが、学習のまとめりに振り返りと「生活にいかそう」というコーナーを設けて活用したり、一般化したりできるようにしている。 |

- | | |
|----|--|
| 委員 | ・ 教育図書は、技術分野同様に新設された内容を他者に比べると多く扱っていたり、金銭の管理と購入について多く取り扱っていたりする点が良い。 |
| 委員 | ・ 開隆堂はロールプレイングや介助体験等の学習活動例を多く示されており、これらを授業に取り入れることで実感を伴った理解や課題の発見につなげることができるよう工夫されている。 |
| 議長 | ・ 皆さんの意見を伺うと、開隆堂に関する意見が多く上げられているが、他はいかがか。 |
| 議長 | ・ 意見をまとめると、開隆堂の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。 |
| 委員 | ・ 異議なし。 |
| 議長 | ・ それでは、技術・家庭（家庭分野）は開隆堂を選定する。 |
| 議長 | ・ 次に、英語の選定協議を行う。意見をお願いします。 |
| 委員 | ・ 東京書籍のキャンドゥリストは小・中接続だけでなく、中・高接続も意識されていた。また、項目についても、東京書籍や開隆堂、三省堂、教育出版の教科書は、具体的に分かりやすい。 |
| 委員 | ・ 各者、自己評価できるチェック欄等も設けられていて、常に学びを振り返ることができるようになっている。特に開隆堂はキャンドゥリストのチェック欄が、生徒が学びの進度に合わせて何度も振り返ることができるようになっていた。 |
| 議長 | ・ 新学習指導要領のポイントの1つであるやり取りについて、委員のみなさんの意見はいかがか。 |
| 委員 | ・ 開隆堂や三省堂、啓林館の教科書では、英語でディスカッションする場が設定されていて、東京書籍や開隆堂、教育出版、光村図書では、英語でディベートする場が設 |

定されていた。

- | | |
|----|---|
| 委員 | ・単に意見を出し合うだけではなく、お互いに英語で議論をしながら、説得力を競うというというのは、貴重な経験であり、開隆堂ではディスカッションもディベートも両方設定されている。 |
| 議長 | ・教育出版の「アクティビティーズ プラス」もお互いの表現から学び合うことで、既習の表現を活性化させ、自由に活用できるようになるよう工夫されている。 |
| 委員 | ・三省堂では、ロールプレイシートなど、インフォメーションギャップを使ったオーセンティックなやり取りの場を生み出す工夫がされている。 |
| 議長 | ・開隆堂や光村図書のリテリングの教材もよい。絵やキーワードをもとに伝え合う活動が続けるうちに、やり取りの力が少しずつ着実に身に付けられるよう工夫されている。 |
| 委員 | ・東京書籍も、いろいろな方法で得た情報を生徒自身に再生させるリテリング教材が豊富に用意されている。 |
| 委員 | ・東京書籍の教科書では、メモをもとにクラスメートと即興で発表し、コミュニケーションを図る場が意図的に設定されている。また、開隆堂の教科書では、身近なことについて既習表現や語彙を使ったペア活動を通して、即興力の育成を図る工夫が見られた。 |
| 議長 | ・全体を通して、委員の皆さんからは、東京書籍と開隆堂を推す意見が多くあげられたが、この2者に絞って協議をしてよろしいか。 |
| 委員 | ・異議なし。 |
| 議長 | ・では、東京書籍と開隆堂について、さらに意見を願います。 |
| 委員 | ・東京書籍の3段階読みのシステムがとてもよい。文章 |

のレベルも段階的にレベルアップするように配置されていて、読解力の育成が期待できる。

委員 ・ 東京書籍では、ラウンド形式の読み物の充実とともに、メールや説明文のほか、グラフや図表を読み取るものまで、様々なタイプの文章を通して題材の内容を深め、読む力を育てる工夫がある。

委員 ・ 開隆堂でも「シンク」という部分が3時間配当されており、1時間目は音声中心、2時間目は読解中心、3時間目は音読中心というように重点を決めて扱うことで、3ラウンド性の読解が可能となっているが、読む力を鍛える上では、東京書籍の方が、「概要をつかむ」、「詳細をおさえる」、「表現につなげる」といった3段階読みの明確な流れがあるので、読解に取り組みやすい印象がある。

議長 ・ 小学校からの接続という観点で、何か意見はあるか。

委員 ・ どちらの教科書も、小学校と同じように、まずは本文を聞く活動から入って、徐々に文字と一致させていくという流れなどが充実している。

議長 ・ 東京書籍は、小学校で学習した単語や表現には小学校マークが付けられており、小学校での既習内容を、中学校の教員が一目瞭然でわかるところがよい。

委員 ・ この第四採択地区では、今年度から、小学校では東京書籍の「ニューホライズン エレメンタリー」を使用しており、東京書籍の教科書では、小学校の教科書と共通した構成や表現、話題、イラストが使用されていて、よりスムーズな小中接続が図られることが考えられる。

委員 ・ 東京書籍は、小学校と同じ発行者の教科書ということで、より小中の接続がしやすいという点がよい。

議長 ・ 皆さんの意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。

- | | |
|----|--|
| 委員 | ・ 異議なし。 |
| 議長 | ・ では、英語は東京書籍を選定する。 |
| 議長 | ・ 次に、道徳の選定協議を行う。意見を願います。 |
| 委員 | ・ 光村図書では、「授業開き」と「振り返り」が年度当初に確認できる流れになっており、目的意識をもって授業に臨める工夫がされている。 |
| 委員 | ・ 廣済堂あかつきは、教材とノートの2冊構成で、教材を通して「考える・話し合う・自分を振り返る」授業ができ、ノートで自身の成長を実感できる。 |
| 議長 | ・ ノートが別冊という点では、日本文教出版も同様で、このノートは友達と自分の意見を対比できるようになっている点対話を深める点でよい。 |
| 委員 | ・ その2者についていうと、廣済堂あかつきは「インターネット」マークが、日本文教出版にはパソコンのマークが教材によって記されていて、補助資料を活用できるよう工夫されている。 |
| 委員 | ・ デジタルコンテンツの点でいうと光村図書や学研教育みらいは、QRコードなどを読み取って「動画」などを活用できる。 |
| 委員 | ・ 教育出版は、リンク先の情報を活用して、知識を深めたり視野を広げたりできる教材がある。東京書籍も、「動画」や「ウェブページ」、カリキュラム・マネジメントの視点から「他教科の紙面」などを活用できる教材がある。 |
| 議長 | ・ カリキュラム・マネジメントの話があったが、道徳を要として学校の教育活動全体で行うものとされているがその観点からはいかがか。 |
| 委員 | ・ 日本文教出版は、巻末に内容項目別一覧があり、教材等の関連が明記されているため、教科等横断的に豊かな |

道徳性を育てる工夫がされている。

- | | |
|----|---|
| 委員 | ・ 日本教科書は学習指導要領に対応させて教材配置がしてあり、他教科との関連も含め、対応表などの工夫がある。 |
| 委員 | ・ 東京書籍も、多様な教材にふれられ、体験的、問題解決的な学習を通して他教科へ広がる工夫がされている。 |
| 議長 | ・ 教育出版でも、他教科と関連させて学習できるようになっており、郷土資料や実態、特性に合った補充教材もあり、効果的な指導が期待できる。 |
| 議長 | ・ その他の点はいかがか。 |
| 委員 | ・ 東京書籍は、巻頭の「話し合いの手引き」で、話し合いの流れや司会カードなど分かりやすく示されており、話し合いの深まりが期待できる。 |
| 委員 | ・ 日本文教出版は、1時間の学習を3ステップに分けて流れを可視化し、対話的で深い学びが生まれるように工夫されている。 |
| 委員 | ・ 日本教科書は、巻頭に道徳で学ぶことや授業の流れなどが示されていて、考えを深められる。学研教育みらいは、巻頭に道徳への向き合い方があり、各ステップの例示などで視点が明確になり、授業がスムーズに展開できるようになっている。 |
| 議長 | ・ 教育出版は、巻頭で学びを深めるための授業の流れや、1年間の学び方が例示されていて、見通しをもてるようになっている。 |
| 委員 | ・ 東京書籍は導入部分に漫画や挿絵を見ながら考える教材が用意されていて、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。また、教材によってあらすじなどの説明もあり、教材の状況を把握して議論に向かう工夫もある。 |
| 委員 | ・ その点では日本文教出版も、「参考」というページが多 |

く掲載されており、興味・関心を引くのと、教材文の理解を助けるものになっている。

委員 ・ 教育出版は写真やグラフを用いた資料が多く、そこから話し合いに発展させたり、生徒の考えを広げたりすることが期待できる。

議長 ・ 皆さんの意見をまとめると、東京書籍と教育出版、日本文教出版を推す意見が多くあげられたと思うが、この3者に絞って協議をしてよろしいか。

委員 ・ 異議なし。

議長 ・ では、東京書籍と教育出版、日本文教出版について、さらに意見を願います。

委員 ・ 日本文教出版の、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」に適した教材には、「学習の進め方」が設定されていて、授業の展開がイメージしやすいよう工夫されている。

委員 ・ 日本文教出版の「道徳ノート」では、友達の意見と比べて考えたことを記入できるようになっているほか、発問を柔軟に設定できるように発問欄が空欄になっていて、多様な意見を引き出すことが期待できる。

委員 ・ 教育出版の「1時間の学びが見える」では、学習の流れなどが、3年間をとおしてくり返し学習することで「ねらい」に迫ることができる。また、「学びの道しるべ」の活用で、人間としてのあり方について考え、深い学びに繋がると考えられる。

委員 ・ 先程と重なるが、東京書籍の教材は心情円のマークなど、考え議論するためのツールを活用して、他の人の心情や考えを可視化できてよい。

委員 ・ 東京書籍は、展開場面での話し合いの際に、「話し合いの手引き」を利用して話し合うことができ、意見交流を深めながら考えを整理する工夫がある。

- 委員 ・ 東京書籍は他にも工夫があり、考えのメモ欄があったり、意見交換ができる「ホワイトボード用紙」があったりして、「考え、議論する道徳」の授業の実現に向け、有効に活用できる。
- 委員 ・ 「いじめ問題」や「生命尊重」についても、東京書籍は、3時間のユニット構成にして、3時間目には生徒の自由な考えを引き出せるようになっている。多面的、多角的に考えるための工夫があるので、更に自分を掘り下げていけることが期待できる。
- 議長 ・ 皆さんの意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。
- 委員 ・ 異義なし。
- 議長 ・ では、特別の教科 道徳は東京書籍を選定する。
- 議長 ・ 今しがたの道徳の選定をもって、中学校のすべての種目の選定が終了した。
ここで、選定結果について改めて確認したいと思う。
事務局より願います。
- 事務局 ・ では、選定結果を申し上げる。
国語は、「光村図書出版」
書写は、「光村図書出版」
社会（地理的分野）は、「東京書籍」
社会（歴史的分野）は、「東京書籍」
社会（公民的分野）は、「東京書籍」
地図は、「帝国書院」
数学は、「東京書籍」
理科は、「大日本図書」
音楽（一般）は、「教育芸術社」
音楽（器楽合奏）は、「教育芸術社」
美術は、「日本文教出版」
保健体育は、「学研教育みらい」
技術・家庭（技術分野）は、「開隆堂出版」
技術・家庭（家庭分野）は、「開隆堂出版」

英語は、「東京書籍」
道徳は、「東京書籍」

議 長 ・ 委員の皆様、よろしいか。

委 員 ・ 異議なし。

議 長 ・ 各市教育委員会においては、中学校用教科書について、
本日の選定結果に基づき採択することになるのでよろ
しくお願いしたい。

議 長 ・ 以上で、すべての教科書の選定を終えたので、ここで議
長の任を解かせていただく。協力に感謝申し上げます。

司 会 ・ 最後に戸ヶ崎 副会長から挨拶をいただく。

副会長 ・ 挨拶

司 会 ・ 以上をもって第2回埼玉県第四採択地区教科用図書採
択協議会を閉会する。